広島文化学園大学
広島文化学園短期大学

令和8（2026）年度前期
学生による授業評価アンケート報告書

Hiroshima Bunka Gakuen

は じ め に

広島文化学園大学･短期大学 FD 委員会 委員長
山内 京子

広島文化学園大学・短期大学 FD 委員会では、本学の授業を中心とする教育の内容及び方法の改善を図るための組織的な取り組みとして、各学期全学で授業評価アンケートを実施しています。その結果を分析、学生・教員にフィードバックするためホームページに公表致します。

今年度、従来のアンケート項目を一部見直し、より学生の学修環境を調整・整備し易い様にしました。特に、学生個々の学びへの姿勢の気づきをうながすために、自身の学びへの態度や価値観、ものの見かた等についての質問項目を明記しました。また、教員側へ学修環境調整が具体的に変革できる様に、アクティブ・ラーニング環境への調整・要望等についてもたずねています。

今日、大学の認証評価の主軸は、内部質保証に移行、大学個々においての FD･SD 活動は、その評価の焦点となっています。全国それぞれの大学を取り巻く環境の変化は厳しく、学生の学びの環境も著しく変化し続けています。オンライン授業、LMS、データ分析、生成 AI 等々、大学教育のデジタル化は急速に変わり続けています。AI についても禁止する、だけではなく、AI を適切に使いながら、学びの環境をどう調整するのか、学ぶ能力をどの様にサポートするのかが問われています。こうした学修環境下にあって教育の質保証への要求は高まるばかりです。学生が日々の授業で何を学び、何を身につけたのか、学修成果が重視されています。

こうした需要に応えるためにも委員会としての絶え間無い取組みを続けていきます。教育環境の変化に教職員は教育方針や学修成果についての理解をさらに深め、教育活動を支えることを求められます。大学教職員への業務は増え続けており、教員には、教育、研究、学生支援、大学運営、社会貢献が求められ、職員にも学生支援、IR、広報、国際化、DX 等々、より専門性を追求されています。大学全体で教育・研究・学生支援の質をどの様に高めることができるのか、が問われ続けています。教職員が共に継続的に学び続ける教職協働のスタイルが従来にも増して求められています。先の見えない教育環境下だからこそ、学生・教員間の不断な学びの姿勢は、本学園が展開する「嚶鳴教育」そのものです。ひな鳥と親鳥が互いに鳴き合いながら「対話」する学生・教員間の学修姿勢は健在です。建学の精神「究理実践（実践を伴う理論の追究）」に基づく学生主体の学びは、各学部学科の教職員による「育てる」教育により、学生一人ひとりの夢と希望の実現を支え続けていきます。

授業評価アンケート結果に対する大学・短大の報告書（３学部７学科）

本学では、学部学科単位でカリキュラムを編成しており、授業の自己点検・評価を学部学科単位で行っています。令和８年度前期に実施した授業評価アンケート結果について次のように報告いたします。

看護学部看護学科

令和８年度「学生による授業評価アンケート」前期の集計結果をふまえ、本学科の授業とその成果について報告する。尚、今年度よりアンケート項目が追加されている。

１．実施期間

前期：令和８年６月～９月

２．対象科目

本学科専任教員、非常勤教員が担当する前期開講科目 67 科目（教養・基礎科目 43 科目、専門科目 24 科目）について実施した。

３．授業アンケート調査内容

授業評価アンケートの調査項目は、別添資料の様に、全学共通質問項目 20 項目について、5 択回答（1＝まったくそう思わない、2＝あまりそう思わない。3＝どちらとも言えない、4＝そう思う、5＝とてもそう思う）とし、無記名方式とした。オプション項目（21 項目め）として、この授業についての意見、感想、要望についての自由記述項目を設けた。また、授業についての具体的な取り組み状況を把握するために時間幅（１．30 分未満　２．1 時間未満　３．2 時間未満　４．3 時間未満　５．3 時間以上）を設定した質問項目を設けている。

４．調査結果の集計

教養・基礎科目（43科目）、専門科目（24科目）の科目群ごとに集計・分析を行った。5つの選択肢に1点から5点を付与し、20の質問項目毎に平均値を算出した。また、教養科目・基礎科目、専門科目の科目群について選択肢の割合を帯グラフで示した。

５．調査結果の分析

５－１　教養・基礎科目

（１）学生の自己評価

昨年度と同様の 5 つの調査項目について比較すると、「遅刻・欠席」については平均点が 4.7(前年比＋1)と高い値で推移している。また、「予習・復習」については 2.1(前年比＋0.2)と改善しているが、他の質問に比して低い状態にある。予習・復習時間が、30 分未満が 3 割強を占めており、引き続き予習・復習が効果的にできるような授業の工夫や改善が必要である。「態度」「興味・関心」は 4.3(前年比±0)、「知識・技術」は 4.4(前年比±0)と高く、学生の授業に取り組む姿勢は積極的であり、知識・技術に対する関心も高いと言える。

（２）授業・教員への評価について

昨年度と同様の 9 つの調査項目について比較すると、「注意」4.1(前年比±0)、「理解度」4.3(前年比－0.1)、であったが他の 7 項目に関しては 4.4(前年度比±0)と高い傾向にある。新規質問項目の「グループワークやディスカッションの機会があったか」4.0、

「課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却されたか」4.1、「質疑応答など、教員と学生との意見交換の機会を作り授業を進めていましたか」4.2、「予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示されましたか」4.2 と、他項目の回答と比較すると低い状況であった。しかし、当該科目への「満足」は 4.4 と高い値であり、総じて、学生は授業の内容や教員の実際の授業運営等については、満足度は高い状況であったが理解度の確認や学修指示等に関して今後は工夫が必要である。

５－２　専門科目

（１）学生の自己評価

昨年度と同様の 5 つの調査項目について比較すると、「遅刻・欠席」については 4.7(前年比＋0.1)と高い値であった。「予習・復習」は 2.1(前年比－0.1)、「態度」4.2(前年比－0.1)「興味・関心」は 4.3(前年比－0.2)、「知識・技術」は 4.4(前年比－0.2)と全体的に下降傾向である。今後は継続して予習・復習への取り組みや、学生が興味・関心が持てるような効果的な授業の工夫や改善策が必要であり、引き続き継続していく。

（２）授業・教員への評価について

昨年度と同様の 9 つの調査項目について比較すると、「注意」4.2(前年比－0.2)、「理解度」4.3(前年比±0)、「目標達成」4.3(前年比－0.2)、であったが他の 6 項目に関しては 4.4(前年度比±0)と高い傾向にある。当該科目への質問項目については、上記以外の全ての項目で 4.4(前年比－0.1)とやや下降している。また新規質問項目の「グループワークやディスカッションの機会があったか」4.2、「課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却されたか」4.2、「質疑応答など、教員と学生との意見交換の機会を作り授業を進めていましたか」4.3、「予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示されましたか」4.3 と、他項目の回答と比較するとやや低い状況であった。しかし、当該科目への「満足」は 4.4 と高い値であり、総じて、学生は授業の内容や教員の授業運営・方法等について、満足度は高い状況にある。

６．学生・教員へのフィードバック

教科目担当教員は、各授業の評価担当科目の集計結果と回答割合表、学生の自由記述内容について評価結果を確認後、教科目毎の自己点検・評価報告書を作成し、提出を義務づけられている。また、自己点検評価内容はシラバス及び授業に反映され、授業の内容改善を行っている。学生及び関係者には、本学ホームページに掲載し公表している。

７．総括

（１）学生の自己評価

学習の基本態度である「遅刻・欠席」は、教養・基礎科目、専門科目の全てにおいて 4.7 と高く、学生の授業への参加意識は高い状況にある。一方、「予習・復習」は教養・基礎科目では 2.1 と昨年より 0.2 ポイント高くなっているが、専門科目では 2.1 と 0.1 ポイント低くなっている。昨年に比し基礎科目では上昇しており引き続き、授業内容の工夫や講義ごとの課題の提示内容・方法などの工夫を継続していく。「態度」「興味・関心」「知識・技術」は 4.2～4.4 と高いが昨年に比し 0.2 ポイント低くなっており、授業について興味や関心を維持して取り組めるような授業内容の工夫等が必要である。

（２）授業・教員への評価について

昨年度と同様の 9 つの調査項目について比較すると、教養・基礎科目、専門科目の評

価項目の点数は、教養・基礎科目の「環境」4.1 以外は全て 4.3～4.4、「満足度」も教養・基礎科目・専門科目 4.4 と高く、授業内容や教授方法、教員の授業運営への評価は総じて高い結果となった。また新規質問項目の「グループワークやディスカッションの機会があったか」「課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却されたか」「質疑応答など、教員と学生との意見交換の機会を作り授業を進めていましたか」「予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示されましたか」については基礎科目が 4.0～4.2、専門科目が 4.2～4.3 であった。この結果が、前述の学生の自己評価にも繋がっている。学生の積極的な授業参加姿勢や学習態度を維持し、知識・技術の高いレベルでの習得を継続させるため、この結果を踏まえ専任教員、非常勤講師ともに意欲や熱意をもって授業に臨むとともに、教授法の質の維持向上に向けて引き続き努めていく。

学芸学部子ども教育学科

令和８年度「学生による授業評価アンケート」前期の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について報告する。なお、今年度よりアンケート項目が変更されている。

１．実施期間

前期：令和８年４月～８月

２．対象科目

本学科専任及び非常勤教員が担当する科目前期開講科目について実施した。専任教員が担当する科目のうち器楽、スタートアップセミナー、子ども学研究法、卒業研究Ⅱの４科目は除外した。

３．授業アンケート調査内容

授業評価アンケートの調査項目は、別添資料のように、全学共通質問 20 項目について、5 択回答（1＝まったくそう思わない、2＝あまりそう思わない。3＝どちらとも言えない、4＝そう思う、5＝とてもそう思う）とし、無記名方式とした。オプション項目として、この授業についての意見、感想、要望についての自由記述項目を設けた。また、授業についての具体的な取り組み状況を把握するために時間幅（１．30 分未満　２．1 時間未満　３．2 時間未満　４．3 時間未満　５．3 時間以上）を設定した質問項目を設けた。

４．調査結果の集計

教養科目、学部共通専門科目、学科専門科目ごとに全学共通質問項目の延べ回答数と 5 択回答の割合、平均値を集計した。

５．調査結果の分析

調査結果は、集計結果をもとに、専任教員で構成する学科会において、教養科目、学部共通専門科目、学科専門科目ごとに分析している。

５－１　教養科目

（1）学生の自己評価

昨年度と同様の 5 つの調査項目について比較すると、肯定的な回答(とてもそう思う、そう思う)が増加した項目が 3 つある。「授業によって関連分野への興味関心が広がっ

た」と回答した学生が 89%（前年比＋9)、「知識や技術が身に付いた」と回答した学生が 93%（前年比＋6)、「授業態度が良かった」と回答した学生が 87%（前年比＋6）であった。授業への遅刻や欠席に関する項目については 88%（前年比－1）の学生が、「しないように心掛けている」と答え、前年と大差ない。

予習・復習に関しては 68%（前年比 0）の学生が 30 分未満と回答しており、依然として学外での学修時間が少ない状況が続いている。学生は概ね当該授業に出席し、授業を通して一定の成果を得ているが、授業時間以外での学修時間が極端に少ない。

（2）授業・教員への評価について

昨年度と同様の 9 つの調査項目について比較すると、1 項目「担当教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい」と肯定的な回答をした学生は 90%（前年比＋5）で 5 ポイント増加している。その他 5 つの項目（「意欲・熱意」「意見交換」「注意」「目標達成」「満足」）で肯定的な回答が微増傾向であった。新たに入った項目の「課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却されたか」の肯定的な回答が 78%、「グループワークやディスカッションの機会があったか」が 80%と、他項目の回答と比較すると低い状況である。

5－2　学科専門科目

（1）学生の自己評価

昨年度と同様の 5 つの調査項目について比較すると、望ましい回答が増加した項目が 2 つある。良い授業態度に関する項目について 88%（前年比＋4）の学生が肯定的な回答を行い、予習・復習に関しては、49%（前年比－11）の学生が 30 分未満と回答しており、10 ポイント以上 1 週間当たりの学修時間が短い学生が減っている。あとの 3 項目（「遅刻・欠席」「興味・関心」「知識・技術」）については、昨年度前期の調査結果とほぼ同程度である。

授業時間外での学修時間が極端に少ない状況が長年の課題であったが、ようやく歯止めがかかってきたように見える。

（2）授業・教員への評価について

昨年度と同様の 9 つの調査項目について比較すると、8 つの項目（「目的」「意欲・熱意」「話し方」「教材・資料」「理解度」「注意」「目標達成」「満足」）において、肯定的な回答が 87%～91%となっており、昨年度前期と概ね同程度の状況であった。授業内容や担当教員に対して総じて高い評価であるといえる。授業への満足度に対する肯定的な回答が 89%であることからも、全体的に満足している様子が窺える。ただ、「教員と学生との意見交換の機会を作り授業を進めたか」について肯定的な回答が 87%（前年比－3）で前年度と比較しマイナスとなっている。

新たに入った調査項目の「課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却されたか」の肯定的回答 82%、「予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示されたか」が 83%と、他項目の回答と比較すると低い状況である。

6．学生・教員へのフィードバック

教員へのフィードバックに関しては、すべての専任教員、非常勤教員が各自の授業評価結果を受け取り、評価項目による振り返りを通して各自が自己点検評価を実施している。年度末に実施する専任教員及び非常勤講師の意見交換会においても自己点検評価結果の共有を図り、学科全体としての改善点の明確化につなげたい。

学生へのフィードバックに関しては、授業等において各教員が機会を見つけて一斉

指導あるいは個別指導を通して積極的に必要な情報のフィードバックに努めるとともに、オリエンテーション等において学習規律や予習・復習について、指導の一層の徹底を図っていく必要がある。

７．総括

（１）学生の自己評価

授業に臨む態度については、教養・専門科目ともに前進した状況が認められる。これまで長年に渡り、課題であった学生の予習・復習にかける時間数については、専門科目に改善の様子が窺えるが、まだまだ十分ではない。新たな調査項目「予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示されたか」「課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却されたか」が入ったこともあり、学科として一層意識して取り組んでいきたい。

（２）授業・教員への評価について

昨年度、教養科目において下降傾向が見られた授業評価が、再度上昇している様子が窺える。ただ、授業に対して否定的な回答をした学生の割合が増加（R7: 2～4%⇒R8:1～7%）していることに着目し、学生の思いを真摯に受け止め、学科全体として、改善に向けて誠実に対応していくことが必要である。

学芸学部音楽学科

令和８年度前期「学生による授業評価アンケート」の集計結果をふまえ、本学科の授業とその成果について報告いたします。

１．実施期間

令和８年７月～８月

２．対象科目

本学科専任及び非常勤教員が担当する科目前期開講科目について実施しました。

専任教員が担当する科目のうちセミナー、キャリアセミナーについては除外しています。

３．授業アンケート調査内容

授業評価アンケートの調査項目は、別添資料の様に、全学共通質問項目 20 項目について、5 択回答（1＝まったくそう思わない、2＝あまりそう思わない。3＝どちらとも言えない、4＝そう思う、5＝とてもそう思う）とし、無記名方式としました。オプション項目（21 項目目）として、この授業についての意見、感想、要望についての自由記述項目を設けました。また、授業についての具体的な取り組み状況を把握するために時間幅（１．30 分未満　２．１時間未満　３．2 時間未満　４．3 時間未満　５．3 時間以上）を設定した質問項目を設けています。

４．調査結果の集計

集計結果は、アンケート実施科目ごとの延べ履修者数と延べ回答者数を表記しています。

５．調査結果の分析

５－１　教養科目

（１）学生の自己評価

アンケート結果から、学生が授業に対して意欲的に取り組んでいる様子がうかがえます。

各平均値は、「遅刻・欠席」4.6「授業中の態度」4.3「興味・関心」4.2「知識・技術」4.3「将来」4.3「幅広い知識」4.3 という高い数値です。しかし「予習・復習」の項目だけは、週当たりの勉強時間については平均値が 1.2 となっています。ここ数年似たような数値で推移していますが、音楽学科の学生が履修している授業の多さ（実技を含む）が一つの要因であると同時に、履修学生が必要な予習、復習内容を明確に把握していないことも考えられます。

（２）授業・教員への評価について

アンケート結果から、「目的」4.3、教員の「意欲・熱意」4.4「話し方」4.3「工夫」4.3「教材」4.3「理解度」4.3「意見交換」4.3「学修指示」3.8「コメント」4.0「グループワーク」4.1「注意」4.2「目標達成」4.4「満足」については 4.3 という高い数値が示されています。「学習指示」において少し数値が低いのは、履修学生に適切にかつ具体的な予習、復習内容を講義ごとに示すことが必要だとも考えられます。

今後より質の高い授業提供を求め、実施・継続していきます。

５－２　専門科目

（１）学生の自己評価

アンケート結果から、学生が授業に対して意欲的に取り組んでいる様子がうかがえます。「遅刻・欠席」4.5、「授業中の態度」4.3、「興味・関心」4.3、「知識・技術」4.4「将来」4.4「幅広い知識」4.4 という高い数値です。しかし「予習復習」の項目の週当たりの勉強時間については平均値が 1.9 と低い結果となっています。履修科目数が多く一つ一つの授業の予習復習の時間で見ると少ない結果ですが、教養科目よりもやや高い数値が出ており、主科実技など学生も向上心を持って学修に取り組んでいる様子がうかがえます。

（２）授業・教員への評価について

アンケート結果から、「目的」4.4、教員の「意欲・熱意」4.5「話し方」4.5「工夫」4.4「教材」4.5「理解度」4.3「意見交換」4.5「学修指示」4.3「コメント」4.2「グループワーク」4.2「注意」4.3「目標達成」4.4 総合的な「満足」については 4.4 という高い数値が示されています。今後より質の高い授業提供を求め、実施、継続していきます。

６．学生・教員へのフィードバック

（１）教員へのフィードバック

教養科目、専門科目とも、学生からの満足度が高い結果については、日頃からの教員による授業に向けての研鑽が功を奏していると思われます。アンケート調査結果は、音楽学科会議で共有するとともに、非常勤講師に対しても意見交換会などの機会を通じて示し、質の高い授業を提供できるように努めます。

（２）学生へのフィードバック

本学全般の傾向として、学生の「予習・復習」に関しての意識は低く、音楽学科も例外ではありません。

履修学生に適切にかつ具体的な予習、復習内容を示すことが必要だとも考えられま

す。
音楽学科の専門性から、実技科目（主科・副科）の練習や演習には真面目に取り組む学生が多く、勤勉さがうかがえます。教養科目をはじめとする理論系授業等にも意識が向くよう、ガイダンスやセミナー等で声掛けを行います。
また教員もより実践的な内容の授業を提供できるよう、継続的に努めます。
音楽学科の特性上、履修授業数がどうしても多くなる傾向があり、それぞれの授業の予習復習時間は少ないものの、1週間の全体量としては多くなる傾向があります。学生の履修環境や状況、進路など様々な条件を考慮し、チューターによる個別指導を行います。

７．総括
（１）学生の自己評価
授業評価アンケート結果から、全般的には良好な結果が出たと受け取ることができます。今後も継続して、良質な授業提供ができるよう努めます。
併せて授業等の改善については、学生の思考力、判断力、表現力が深まる授業をめざし、教員自らが実践的な授業を行えるよう、各種研修を通じて自己研鑽に励みます。
また、学生の基礎学力の向上や、自らが予習復習にも積極的に臨める基盤構築にも取り組みます。
（２）授業・教員への評価について
音楽学科の特質として、「協働して音を合わせること」自体がアクティブラーニングであると捉え、日々の授業を実践しています。
学生が音を通じてより優れたコミニュケーション力を育むように努めます。
また教養科目など音を介さない科目においても、知への探求心を刺激する授業提供を行い、学修への意欲喚起ができるよう心がけます。

人間健康学部スポーツ健康福祉学科

令和８年度「学生による授業評価アンケート」前期の集計結果をふまえ、本学科の授業とその成果について、次に示す通り報告する。

１．実施期間
前期：令和８年７月～８月

２．対象科目
本学科専任教員、非常勤教員が担当する前期開講科目のうち、教養科目及び専門科目について実施した。

３．授業アンケート調査内容
授業評価アンケートの調査項目は、別添資料の様に、教養科目 20 項目、専門科目 20 項目とした。「予習・復習時間」を除く 19 項目については、5 択回答（1＝まったくそう思わない、2＝あまりそう思わない、3＝どちらとも言えない、4＝そう思う、5＝とてもそう思う）とした。また、授業についての具体的な取り組み状況を把握するために、

1 週間当たりの予習・復習・練習等の時間について、時間幅（１．30 分未満　２．1 時間未満　３．2 時間未満　４．3 時間未満　５．3 時間以上）を設定した質問項目を設けた。

今年度は調査項目が変更され、「将来の仕事につながる学び」「幅広い知識・ものの見方」などを含む学生の自己評価 7 項目と、「意見交換」「学修指示」「提出物へのコメント」「グループワーク」「目標達成」などを含む授業・教員への評価 13 項目で構成されている。

４．調査結果の集計

教養科目、専門科目の科目群ごとに集計・分析を行った。5 つの選択肢に 1 点から 5 点を付与し、教養科目 20 項目、専門科目 20 項目について平均値の算出を行った。また、それぞれの科目群について選択肢の割合を帯グラフで示した。なお、「予習・復習時間」の平均値は時間区分の回答番号の平均であり、学修時間そのものを示す値ではない。また、今年度は調査項目が変更されているため、前年度との比較については留意する必要がある。

５．調査結果の分析

５－１　教養科目

（１）学生の自己評価

「遅刻・欠席」については、前年同様に 4.3 と高いことから、多くの学生が欠席・遅刻について注意を払い、努力していることが分かった。一方、「予習・復習時間」については 2.0 であったが、回答割合では「30 分未満」が 51.5%を占めており、授業時間外の学修時間は十分とはいえない。「予習」「復習」等について学生への指導を継続し、今後も改善に努める必要がある。

「授業への参加態度」「知識・技術」は何れも 4.2 であった。「興味・関心」も 4.2 であった。また、今年度の調査項目に含まれる「将来の仕事につながる学び」「幅広い知識・ものの見方」は何れも 4.2 であり、学修成果について肯定的な評価が得られた。今後も学生がより積極的に授業参加できるよう、各教員が継続して指導の工夫に努めることが必要である。

（２）　授業・教員への評価について

当該科目への評価項目の点数は 4.1～4.3 であった。また、満足度は 4.3(前年は 4.1)であった。授業・教員への評価については概ね高い値を維持しているが、「学修指示」「提出物へのコメント」「グループワーク」は何れも 4.1 であり、今後も授業の進め方等の改善が必要である。なお、「目標達成」は 4.2 であった。

５－２　学部専門科目

（１）学生の自己評価

「予習・復習」項目を除く他の項目は 4.3～4.4 と高い評価を示し、学生が積極的に授業に参加していたことがうかがえる。特に、「遅刻・欠席」「知識・技術」は 4.4 であった。また、「将来の仕事につながる学び」「幅広い知識・ものの見方」は何れも 4.3 であった。「予習・復習時間」については 2.1 であったが、回答割合では「30 分未満」が 43.9%を占めており、学修時間の確保には引き続き課題があることから、今後も教員からのきめ細かな指導を継続していきたい。

（２）授業・教員への評価について

各項目の評価は 4.0〜4.4 であり、全体の「満足度」は 4.4（前年は 4.3）であった。「意欲・熱意」は 4.4 であり、授業・教員への評価は全体として高い値を示した。一方、「意見交換」「学修指示」「提出物へのコメント」は 4.2、「グループワーク」は 4.0 であった。科目の特性に応じて、学生同士の学び合いや課題へのフィードバックを工夫する必要がある。「目標達成」は 4.3 であった。今後も高い評価を維持できるよう、各担当教員で努力を継続していきたい。

６．学生・教員へのフィードバック

教員には、各授業の評価が示されているので、その結果に基づいて自己評価を提出し、授業改善を実施している。非常勤の教員には、授業担当連絡会などで学生の授業評価を授業に反映していただくよう働きかけている。継続して学生の授業評価の向上に努めていきたい。

７．総括

（１）学生の自己評価

どの科目群においても、「遅刻・欠席」は前年同様に 4.3〜4.4 と高い評価点を示した。多くの学生が授業には、積極的に参加している姿勢がうかがえる。また、「将来の仕事につながる学び」「幅広い知識・ものの見方」についても 4.2〜4.3 と高く、学修成果に対する肯定的な評価が得られた。一方、全ての科目群において、「予習・復習時間」の確保は引き続き課題である。講義系科目では、予習・復習時間も重要であることから、学生の「予習・復習」に係る口頭指導等を各教員で実施したり、学修内容や取り組み方を具体的に示したりする必要がある。

（２）授業・教員への評価について

満足度については、教養科目 4.3、専門科目 4.4 と、高い評価の数値を示した。特に、専門科目の「意欲・熱意」は 4.4 と最も高い評価点であった。授業・教員への評価について概ね高い結果が得られたことは評価できる点であると考える。一方、今年度の調査項目に含まれる意見交換、学修指示、提出物へのコメント、グループワークについては、各科目の目的や授業形態に応じて、引き続き改善に努める必要がある。

今後も各担当教員は、専門科目、および教養科目においても高い評価が得られるよう、学生に興味・関心を持たせ、積極的な参加を可能とする授業実践を行っていく必要がある。

コミュニティ生活学科

令和８年度「学生による授業評価アンケート」前期の集計結果をふまえ、その概要について報告します。

１．実施期間

前期：令和８年７月〜９月

２．対象科目

本学科専任教員が担当する科目（専門科目 20 科目）、非常勤教員が担当する科目（教養科目 10 科目、専門科目 23 科目）。

３．授業アンケート調査内容

授業評価アンケートの調査項目は、別添資料の様に、全学共通質問項目 20 項目について、5 択回答（1＝まったくそう思わない、2＝あまりそう思わない。3＝どちらとも言えない、4＝そう思う、5＝とてもそう思う）とし、無記名方式とした。
オプション項目（17 項目）として、この授業についての意見、感想、要望についての自由記述項目を設けた。また、授業についての具体的な取り組み状況を把握するために

時間幅（１．30 分未満　２．1 時間未満　３．2 時間未満　４．3 時間未満　５．3 時間以上）を設定した質問項目を設けている。

４．調査結果の集計

集計は学部・学科別に実施、学部・学科で設定した基準でアンケート実施科目をグループ化、グループごとの比較や全体傾向を把握するためにグループでの集計を実施した。アンケート実施科目ごとの延べ履修者数と延べ回答者数を集計、学部・学科別に回答内容を集計・表記している。なお、本報告書では短大 3 学科（コミュニティ生活学科、食物栄養学科及び保育学科）をまとめ、教養科目、専門科目ごとに集計、帯グラフ表記している。

５．調査結果の分析

調査結果は、専任教員で構成する学科会において、非常勤講師を含む授業担当教員ごとに評価結果をまとめ、分析している。

分析は、原則として 3 年分を対象とし、評価項目ごとの経年変化に着目し、評価結果が低下傾向又は著しく低下あるいは単年度でも平均値より著しく劣る授業科目等を把握し、授業改善活動につなげることとしている。

５－１　教養科目

（１）学生の自己評価

教養科目についての授業評価より、学生自身についての質問項目は、「授業によって関連分野への興味・関心がわいた」が 4.3、「新しい知識・技術が身に付いた」が 4.5 など、授業に意欲的に取り組み、授業を通して知識や技術が身に付いたと感じていることがうかがえる。1 週間当たりの学修時間についての評価は 1.3 と、専門科目と同じ傾向で予習・復習・練習等の勉強の時間が低いことが分かる。

（２）授業・教員への評価について

授業についての評価では、多くの質問項目で 4.3～4.7（「この授業に満足している」4.6）と、満足度が高いことが伺える。一方で、「グループワークやディスカッションの機会」が 3.8、「授業時間外に行うべき学習の指示」が 3.9、「提出物への適切なコメント」が 4.1 と、他の項目に比べてやや低い評価となった。

５－２　専門科目

（１）学生の自己評価

専門科目についての授業評価より、学生自身についての質問項目は、「授業によって関連分野への興味・関心がわいた」が 4.5、「新しい知識・技術が身に付いた」が 4.6 など、授業に意欲的に取り組み、授業を通して知識や技術が身に付いたと感じていること

が伺える。1 週間当たりの学修時間についての評価は 1.6 であり、予習・復習・練習等の勉強の時間が低いことが分かる。

（２）授業・教員への評価について

授業についての評価では、多くの質問項目で 4.4～4.7（「この授業に満足している」4.6）となっており、満足度が高いことが伺える。一方で、「グループワークやディスカッションの機会」が 3.9、「授業時間外に行うべき学習の指示」が 4.2、「提出物への適切なコメント」が 4.3 と、教養科目と同様の項目で相対的に低い評価となった。

６．学生・教員へのフィードバック

（１）教員へのフィードバック

担当教員ごとに調査を実施した授業科目に対して次のデータをフィードバックした。科目名、担当者名、回答者数が記載された集計結果で、内容は以下の通り。

・回答者別設問別評価結果一覧（回答は無記名のため回答者は番号で表記）

・設問別評価分布一覧及び帯グラフ

（２）学生へのフィードバック

講義は前・後期の 2 セメスター制となっていること及び集計結果が授業終了後約３か月後となることから、授業科目ごとのフィードバックは行わず、各期末の学科全体において総括報告を行うこととした。

７．総括

（１）学生の自己評価

授業評価の結果から、学生自身に関する設問のうち、「予習・復習・練習等」に関する項目を除く多くの質問で 4.3～4.6 と高い評価が得られた。これにより、学生が授業に対して意欲的に取り組み、知識や技術の定着を実感している様子がうかがえる。一方で、「予習・復習・練習等の自主的な学習」に関する評価は 1.3 または 1.6 と低く、今後の課題として位置づけられる。

（２）授業・教員への評価について

今年度前期の授業評価調査結果を学科会で分析したところ、早急な対応を要する重大な問題は見られなかった。全体として良好な評価結果が得られており、これまで担当教員が調査結果のフィードバックをもとに授業改善に取り組んできた効果が、表れていると考えられる。一方で、教養科目・専門科目ともに「グループワークやディスカッションの機会」「授業時間外に行うべき学習の指示」「提出物への適切なコメント」の３項目が他の項目に比べて相対的に低い傾向が見られた。これらは学生の予習・復習等の学修時間の少なさとも関連する課題であることから、授業時間外学修の具体的な指示や提出物へのフィードバックの充実、学生参加型の授業形態の導入について、学科として引き続き改善に取り組むこととする。

食物栄養学科

令和８年度「学生による授業評価アンケート」前期の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について報告します。

１．実施期間

前期：令和８年７月～９月

２．対象科目

本学専任教員が担当する科目前期開講科目 17 科目（教養科目 2 科目、学科専門科目 15 科目)、非常勤講師が担当する科目 12 科目（教養科目 6 科目、専門科目 6 科目）について実施した。なお、調査は開講クラスごとに集計した。また、専任教員が担当する専門科目のうち、セミナーⅠ、卒業研究、給食実務校外実習、老人ホーム実習、病院実習の計 5 科目は除外した。

３．授業アンケート調査内容

授業評価アンケートの調査項目は、別添資料の様に、全学共通質問項目 20 項目について、5 択回答（1＝まったくそう思わない、2＝あまりそう思わない。3＝どちらとも言えない、4＝そう思う、5＝とてもそう思う）とし、無記名方式とした。

オプション項目（21 項目）として、この授業についての意見、感想、要望についての自由記述項目を設けた。また、授業についての具体的な取り組み状況を把握するために時間幅（１．30 分未満　２．1 時間未満　３．2 時間未満　４．3 時間未満　５．3 時間以上）を設定した質問項目を設けている。

４．調査結果の集計

集計は学部・学科別に実施、学部・学科で設定した基準でアンケート実施科目をグループ化、グループごとの比較や全体傾向を把握するためにグループでの集計を実施した。

アンケート実施科目ごとの延べ履修者数と延べ回答者数を集計、学部・学科別に回答内容を集計・表記している。

なお、本報告書では短大 3 学科（コミュニティ生活学科、食物栄養学科及び保育学科）をまとめ、教養科目、専門科目ごとに集計、帯グラフ表記している。

５．調査結果の分析

調査結果は、専任教員で構成する学科会において、非常勤講師を含む授業担当教員ごとに評価結果をまとめ、分析している。

分析は、原則として 3 年分を対象とし、評価項目ごとの経年変化に着目し、評価結果が低下傾向又は著しく低下あるいは単年度でも平均値より著しく劣る授業科目等を把握し、授業改善活動につなげることとしている。

５－１　教養科目

（1）学生の自己評価

教養科目についての学生の自己評価は、予習・復習時間の項目を除くと、教養科目平均で出席や遅刻については 4.7、授業態度も 4.4 であり、真面目に授業に取り組んでいることがわかる。予習・復習、練習等の一週間当たりの実施時間については、平均値が 1.7 であり、授業外における科目の勉強の時間は多くは 30 分未満であった。

（2）授業・教員への評価について

授業や教員の評価についても、各項目は平均で 4.0 から 4.5 の範囲にあり、満足度 4.5 と高評価であり、多くの学生が満足していた。今後は、学生の学びへの意欲を高め、専門科目の学びに繋がるような取り組みが必要であると考える。

５－２　学科専門科目

（１）学生の自己評価

専門科目の評価についても、「予習・復習時間」の項目を除き、全ての項目の平均値は 4.3 から 4.6 であった。専門科目の多くが栄養士免許取得のための必修科目であることから、「遅刻や欠席をしないように心がけた」及び「新しい知識・技術が身に付いたか」という項目については、平均値 4.6 と自己評価は高かった。それに比べて、授業態度については自己評価がやや低い学生がいることがわかる。予習・復習の時間については、「30 分未満」と「1 時間未満」が多かった。

（２）授業・教員への評価について

全体的には全ての項目において、平均で 4.1～4.5 の範囲であり、高評価であった。満足度については 4.5 であり、昨年同様に満足度の高い授業であったことがわかる。

６．学生・教員へのフィードバック

（１）教員へのフィードバック

学生による授業評価アンケートの集計結果を教員が確認する。教員はその内容を真摯に受け止め、「授業評価アンケート結果に対する自己点検評価」を記入し、学科長へ提出することになっている。

（２）学生へのフィードバック

個々の教員の授業改善の結果を学生へのフィードバックとする。

７．総括

（１）学生の自己評価

単位修得のための条件の一つとして出席が 2/3 以上という条件があることから、「欠席・遅刻をしないように」ということについての学生の意識は高い。

「予習・復習」時間については、毎回低い結果が出ている。科目によってはレポート提出や献立作成などの課題が出されており、授業時間外で学生が主体的に学べるような取り組みも実施されている。学科で情報共有をしながら、さらに検討したいと考えている。

（２）授業・教員への評価について

今年度前期の調査結果については学科会での分析においては、緊急を要する重大な問題は、検出されなかった。全体としては良好な評価結果が得られており、従前から、担当教員に対しては、調査結果のフィードバックを基に授業改善を図ってもらうこととしている。授業時間外における課題の提案や C-Learning の活用も含めて、授業改善のための様々な取組により、教育効果が着実に表れているものと考える。

保育学科

令８年度「学生による授業評価アンケート」前期の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について報告します。

１．実施期間

前期：令和８年４月～８月

２．対象科目

本学科専任及び非常勤教員が担当する科目前期開講科目について実施した。専任教員が担当する科目のうち、セミナーⅠ、セミナーⅡ、卒業研究、保育実習、教育実習、体育実技（通年）の６科目は除外した。

３．授業アンケート調査内容

授業評価アンケートの調査項目は、前年度の質問項目を見直し、2 項目を再編成、1 項目を削除し、新たに 5 項目を追加した。全学共通の質問項目は 20 項目とし、5 件法（1＝まったくそう思わない、2＝あまりそう思わない、3＝どちらとも言えない、4＝そう思う、5＝とてもそう思う）による回答とした。なお、回答は無記名方式とした。また、オプション項目として、21 項目目に「この授業についての意見、感想、要望」を尋ねる自由記述欄を設けた。また、授業についての具体的な取り組み状況を把握するために時間幅（１．30 分未満　２．1 時間未満　３．2 時間未満　４．3 時間未満　５．3 時間以上）を設定した質問項目を設けた。

４．調査結果の集計

集計は学部・学科別に実施、学部・学科で設定した基準でアンケート実施科目をグループ化、グループごとの比較や全体傾向を把握するためにグループでの集計を実施した。アンケート実施科目ごとの延べ履修者数と延べ回答者数を集計、学部・学科別に回答内容を集計・表記している。なお、本報告書では短大 3 学科（コミュニティ生活学科、食物栄養学科及び保育学科）をまとめ、教養科目、専門科目ごとに集計、帯グラフ表記している。

５．調査結果の分析

調査結果は、専任教員で構成する学科会において、非常勤講師を含む授業担当教員ごとに評価結果をまとめ、分析している。分析は、原則として 3 年分を対象とし、評価項目ごとの経年変化に着目し、評価結果が低下傾向又は著しく低下あるいは単年度でも平均値より著しく劣る授業科目等を把握し、授業改善活動につなげることとしている。

５－１　教養科目

（1）学生の自己評価

教養科目において、授業に対する学生自身の態度について問う項目では、95%（前年比－2%）の学生が肯定的な評価（「とてもそう思う」「そう思う」）を示した。また、「この授業によって関連分野への興味・関心がわいた」と回答した学生は 95%（前年比－1%）、「新たな知識・技能が身についた」と回答した学生は 97%（前年比＋1%）であった。「授業に遅刻や欠席をしないよう心掛けた」と回答した学生は 98%（前年比＋1%）であり、学生自身による授業への取組については、前年度と同様に高い水準を維持している。

一方、予習・復習については、67%（前年比＋3%）の学生が「30 分未満」と回答しており、依然として授業外での学修時間が十分とはいえない状況にある。ただし、前年度と比較すると 3 ポイント増加しており、改善傾向がみられる。

今年度から新たに設けた「将来の職業に向けた知識・スキルの習得」では 97%、「学びによる知見の広がり」では 96%の学生が肯定的に評価した。これらの結果から、授業を通して、将来の仕事に必要な知識やスキルを身につけるとともに、知識の広がりや

新たなものの見方を得たと実感している学生が多いことがうかがえる。

（2）授業・教員への評価について

今年度前期の調査結果では、肯定的な評価（「とてもそう思う」「そう思う」）が 82～98%と、前年度と同様に高い水準を維持している。中でも、「教員の熱意」に関する項目は 98%（前年比±0%）、「授業教材や資料の効果的な使用」は 97%（前年比±0%）、「学生の理解度に合わせた授業の進行」は 96%（前年比＋1%）と、いずれも高い評価を得ている。これらの結果から、教員が学生の反応や理解度を捉えながら授業内容や教材を工夫し、学生の学びを支える姿勢が、授業を受ける学生にも実感を伴って受け止められていると考えられる。また、教員による一方的な知識の伝達ではなく、学生の理解を意識した授業展開が、高い評価につながっていることが示唆される。

また、「この授業に満足していますか」については肯定的な評価（とてもそう思う、そう思う）が 98%（前年比＋2%）であった。後期においても引き続き高い満足度が維持できるよう、授業作りを進めていきたい。

5－2　学科専門科目

（1）学生の自己評価

学科専門科目において、授業に対する学生自身の態度について問われる項目については 97%（前年比＋3%）の学生が肯定的な評価（とてもそう思う、そう思う）を行っている。また、この授業によって関連分野への興味・関心がわいたと回答した学生は 97%（前年比＋3%）、新たな知識・技能が身についたと回答した学生は 96%（前年比±0%）であった。授業に遅刻や欠席をしないよう心掛けたと回答した学生は 97%（前年比＋3%）であり、全般的に自己評価は前年度と比較すると上昇傾向にあるといえる。予習・復習に関しては 47%（前年比－12%）の学生が 30 分未満と回答しており、依然として学外での学修機会が少ない状況が続いているが、前年度と比較すると大幅な改善傾向が見られる。

今年度から新たに設けた「将来の職業に向けた知識・スキルの習得」「学びによる知見の広がり」で、何れも 97%の学生が肯定的に評価した。これらの結果から、授業を通して、将来の仕事に必要な知識やスキルを身につけるとともに、知識の広がりや新たなものの見方を得たと実感している学生が多いことがうかがえる。

（2）授業・教員への評価について

今年度前期の調査結果は、肯定的な評価（とてもそう思う、そう思う）が 89～98%と高い評価が得られている。中でも最も高かったのは、「授業の到達目標の達成度」の 98%であり、授業を通して学生が学修内容を理解し、設定された到達目標を概ね達成できていることがうかがえる。「教員の熱意」97%、「教材・資料の工夫」94%、「学生の理解度に応じた授業展開」94%に対する高い評価と合わせて考えると、授業における教員の工夫が学生の理解や学修成果につながっていることが示唆される。

また、「この授業に満足していますか」については、肯定的な評価（とてもそう思う、そう思う）が 96%（前年比±0%）であった。後期においても引き続き高い満足度が維持できるよう、授業作りを進めていきたい。

6．学生・教員へのフィードバック

（1）教員へのフィードバック

常勤教員については、学科会で授業評価の結果を共有し、評価の低い項目や前年度か

ら変化した項目を中心に課題を整理するとともに、授業で取り入れられる改善方法について意見交換を行う。非常勤教員については、評価結果や学生の意見を共有し、授業内容や教材、進め方等の改善に活用する。これらの取組を通して授業改善を進め、次年度の評価結果との比較から改善の効果を確認する。

（2）学生へのフィードバック

授業評価や学生からの意見を授業改善に反映し、その取組や変更点を授業の中で学生に伝えることで、学修へのフィードバックにつなげる。また、レポートや振り返りシート等に対して、学生の取組や気づきを踏まえた教員からのコメントを付すなど、フィードバックの方法を工夫し、学生の理解や学びの深まりにつなげる。こうした取組を通して、学生との対話を促し、学修を支える授業づくりを進めていく。

7．総括

（1）学生の自己評価

調査結果から、教養科目・学科専門科目ともに、授業への取組や学修成果について高い評価が得られていることがわかった。特に、知識・技能の習得や将来の職業につながる学び、知見の広がりについて高い評価が得られており、授業を通した学びの成果を実感している学生が多いことがうかがえる。

一方、予習・復習など授業外での学修については、引き続き課題がみられるものの、学科専門科目では改善がみられた。今後は、予習・復習の意義や方法を具体的に示し、学生が自身の学修状況を振り返る機会を設けることで、授業外での学修を促し、自律的な学修につなげていく。

（2）授業・教員への評価について

学科会において本調査結果を共有し、授業・教員への評価について分析及び意見交換を行った。教養科目・学科専門科目ともに、教員の熱意、教材・資料の工夫、学生の理解度に応じた授業展開について良好な結果が得られており、授業の到達目標の達成度や授業満足度についても高い水準を示している。これらの結果から、学生からみた授業及び教員への評価は、全体として良好な状況にあると考えられる。

今後も授業評価や学生からの意見を授業改善の参考として活用し、教材や授業方法の工夫、学生へのフィードバック等を継続していく。また、学生との対話を通して学修状況や意見を把握し、学生の主体的な学びを支える授業づくりに取り組んでいく。

Hiroshima Bunka Gakuen 大学
広島文化学園 短期大学

広島文化学園大学・短期大学の授業に関するアンケート

■ このアンケートは、学生の皆さんの授業に対する考え方、感じ方を聞くことによって、授業の改善、充実に役立てるものです。
■ 成績評価には関係ありませんので、正直に回答してください。
■ １項目ずつ丁寧に読んで、きちんと回答してください。
■ 最後の感想や要望は、教員の授業改善に大いに役立ちますので、できるだけ入力してください。

【回答方法】

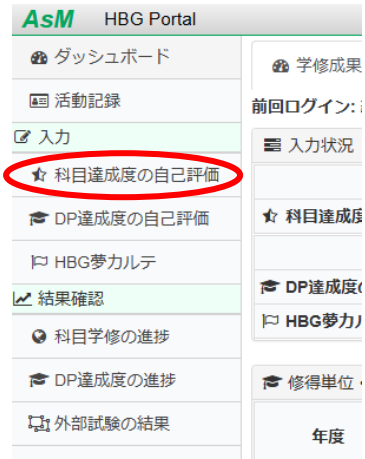
■ 回答は「HBG Portal」から行ってください。
■ 回答は担当教員の指示を受けて行ってください。

■ 操作手順

①「HBG ポータル」を選択



②「科目達成度の自己評価」を選択



③科目の右側にある「回答する」からアンケート入力を行う



広島文化学園大学・短期大学の授業に関するアンケート内容

１．あなた自身について

1. この授業に遅刻や欠席しないように心がけた。
2. この授業の予習・復習・練習等に１週間あたりどの位勉強しましたか。

１．30 分未満　２．1 時間未満　３．2 時間未満　４．3 時間未満　５．3 時間以上

3. この授業に対する態度（積極的に質問・発言をする、意欲的に学習する等）は良かったですか。
4. この授業によって関連分野または、専門分野への興味・関心がわきましたか。
5. この授業によって新しい知識・技術（技能）が身につきましたか。
6. この授業によって将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観が身につきましたか。
7. この授業によって幅広い知識、ものの見方ができるようになりましたか。

２．この授業について

8. 授業の目的や到達目標、評価方法はシラバスに明確にされていましたか。
9. 授業の担当教員の意欲や熱意が感じられましたか。
10. 担当教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。
11. 理解がしやすいように教え方が工夫されていましたか。
12. 担当教員はこの授業の教材や資料等を効果的に使っていましたか。
13. 担当教員は学生の理解度にあわせて授業を進行していましたか。
14. 担当教員は質疑応答など、教員と学生との意見交換の機会を作り授業を進めていましたか。
15. 担当教員から予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示されましたか。
16. 担当教員から課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却されましたか。
17. グループワークやディスカッションの機会がありましたか。
18. 担当教員は私語・居眠り等を注意し、学習しやすい環境づくりをしていましたか。
19. 授業の到達目標は達成できましたか。
20. この授業に満足していますか。

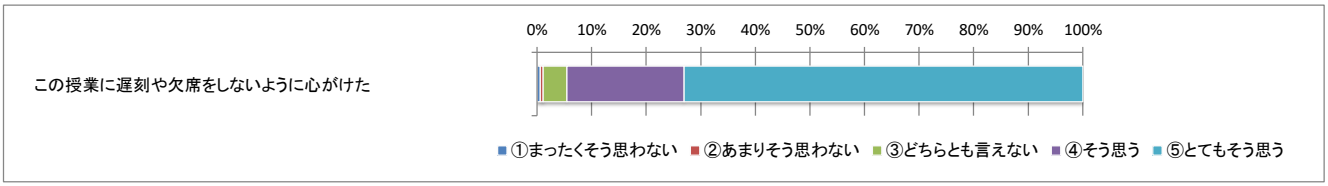
３．オプション項目

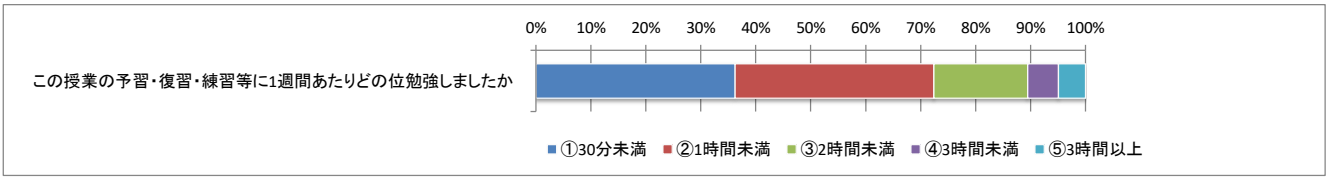
21. この授業についての意見、感想、要望について

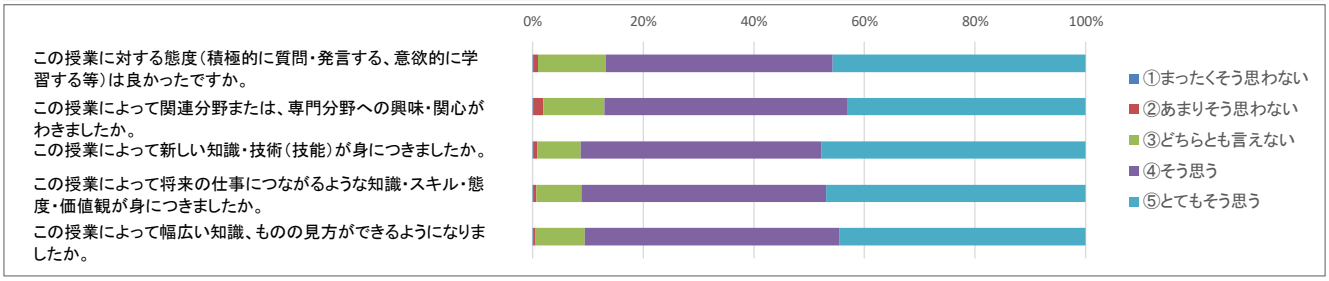
看護学部　看護学科教養・基礎科目　2026年度前期

	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	4	259	2	2	2	2	2	3	2	3	2	3	4	6	14	9	30	12	5	4
②	4	258	5	12	4	3	2	0	7	9	15	10	10	18	21	27	38	23	1	10
③	31	122	87	79	56	58	63	47	51	54	57	56	72	98	89	147	128	114	56	46
④	153	40	293	313	311	316	329	324	293	290	283	302	302	305	305	264	247	295	327	300
⑤	520	35	326	308	341	335	317	338	361	358	356	340	325	287	285	267	271	268	324	350
平均	4.7	2.1	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.1	4.0	4.1	4.4	4.4

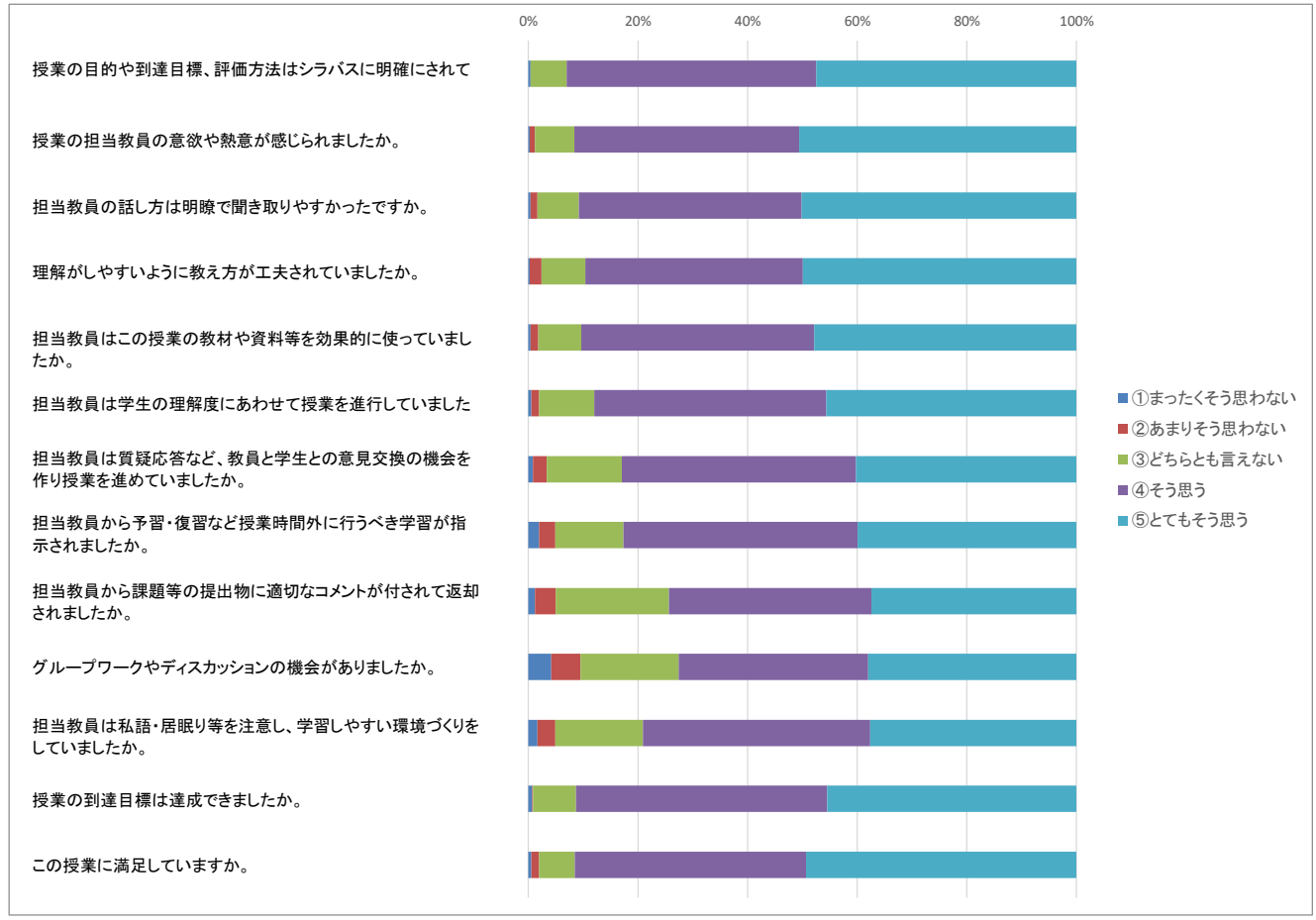
あなた自身について







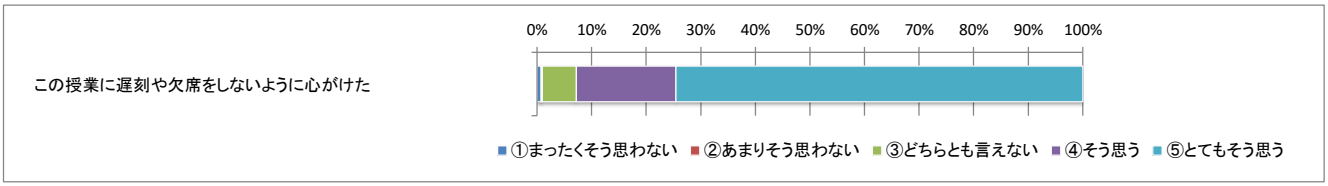
この授業ついて

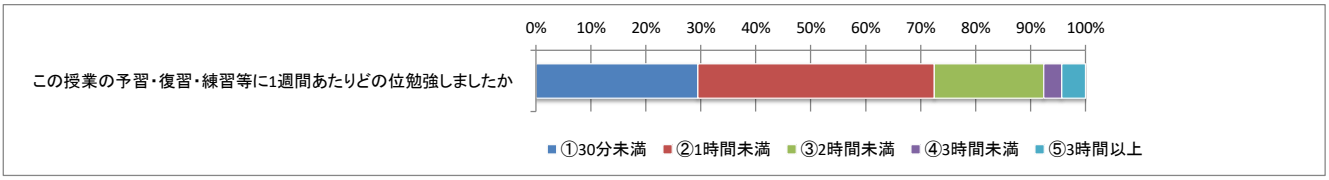


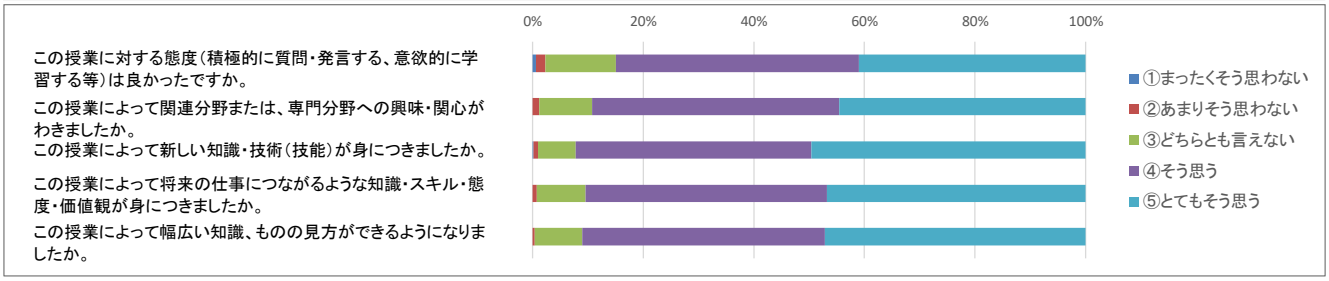
看護学部　看護学科専門科目　2026年度前期

	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	4	151	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	7	1	0	0
②	1	220	9	6	4	4	2	2	6	5	7	5	8	7	10	5	18	10	2	4
③	32	102	65	49	35	45	44	46	46	40	45	46	54	67	61	80	71	89	52	53
④	93	17	225	229	218	223	224	211	190	196	200	198	223	204	221	208	195	211	228	197
⑤	381	22	210	228	254	239	241	253	270	271	260	262	227	231	214	215	221	200	229	256
平均	4.7	2.1	4.2	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4

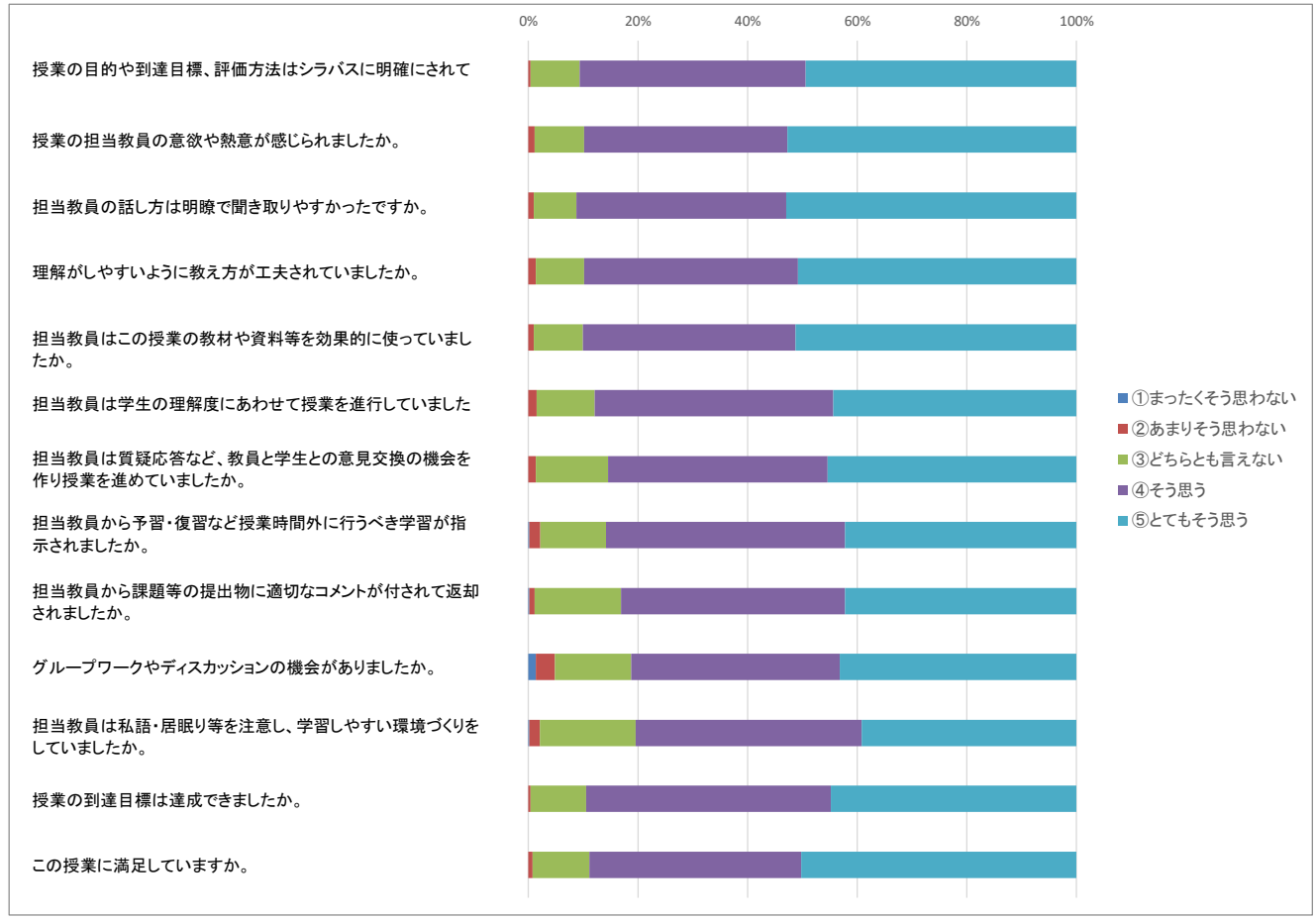
あなた自身について







この授業ついて

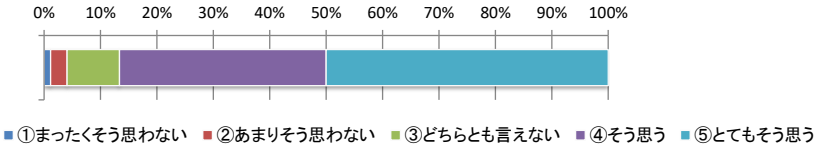


学芸学部　子ども教育学科教養科目　2026年度前期

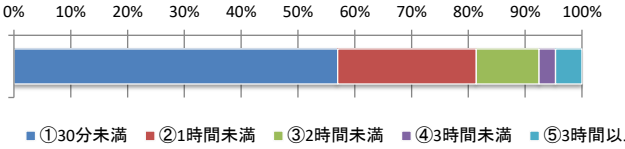
	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	2	98	2	3	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1	4	3	3	1	0	2
②	5	42	9	5	2	6	4	3	1	1	1	5	4	2	8	2	12	8	4	2
③	16	19	28	17	14	18	12	18	17	15	21	17	23	15	22	32	20	23	17	19
④	63	5	68	73	73	63	73	63	69	72	69	71	65	79	62	60	59	66	75	69
⑤	86	8	65	74	82	85	82	87	84	83	80	79	80	75	76	75	78	72	76	79
平均	4.3	1.7	4.1	4.2	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.2	4.3	4.3

あなた自身について

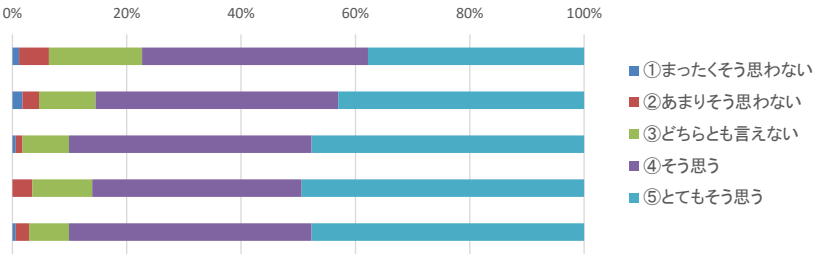
この授業に遅刻や欠席をしないように心がけた



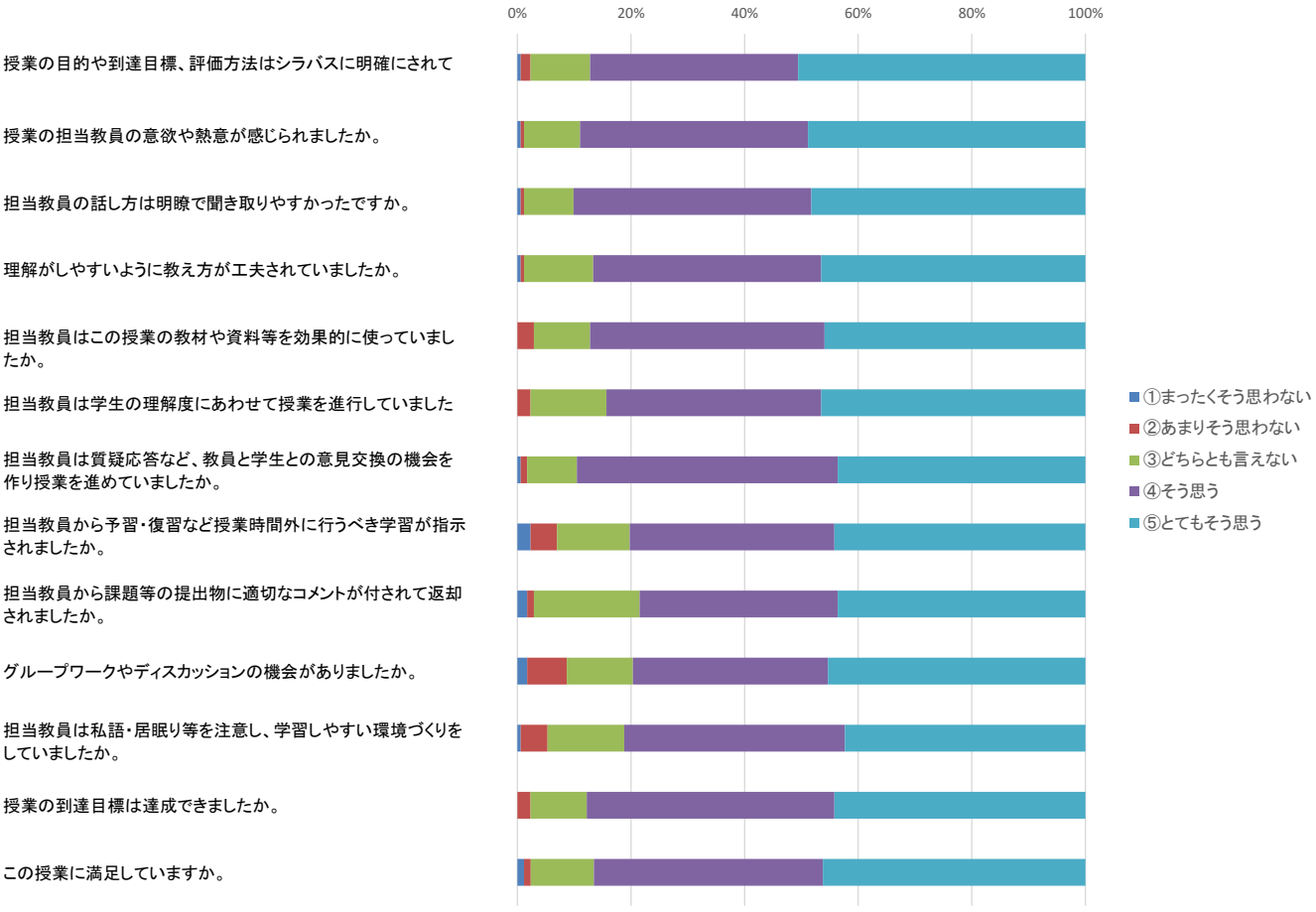
この授業の予習・復習・練習等に1週間あたりどの位勉強しましたか



この授業に対する態度（積極的に質問・発言する、意欲的に学習する等）は良かったですか。
この授業によって関連分野または、専門分野への興味・関心がわきましたか。
この授業によって新しい知識・技術（技能）が身につきましたか。
この授業によって将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観が身につきましたか。
この授業によって幅広い知識、ものの見方ができるようになりましたか。



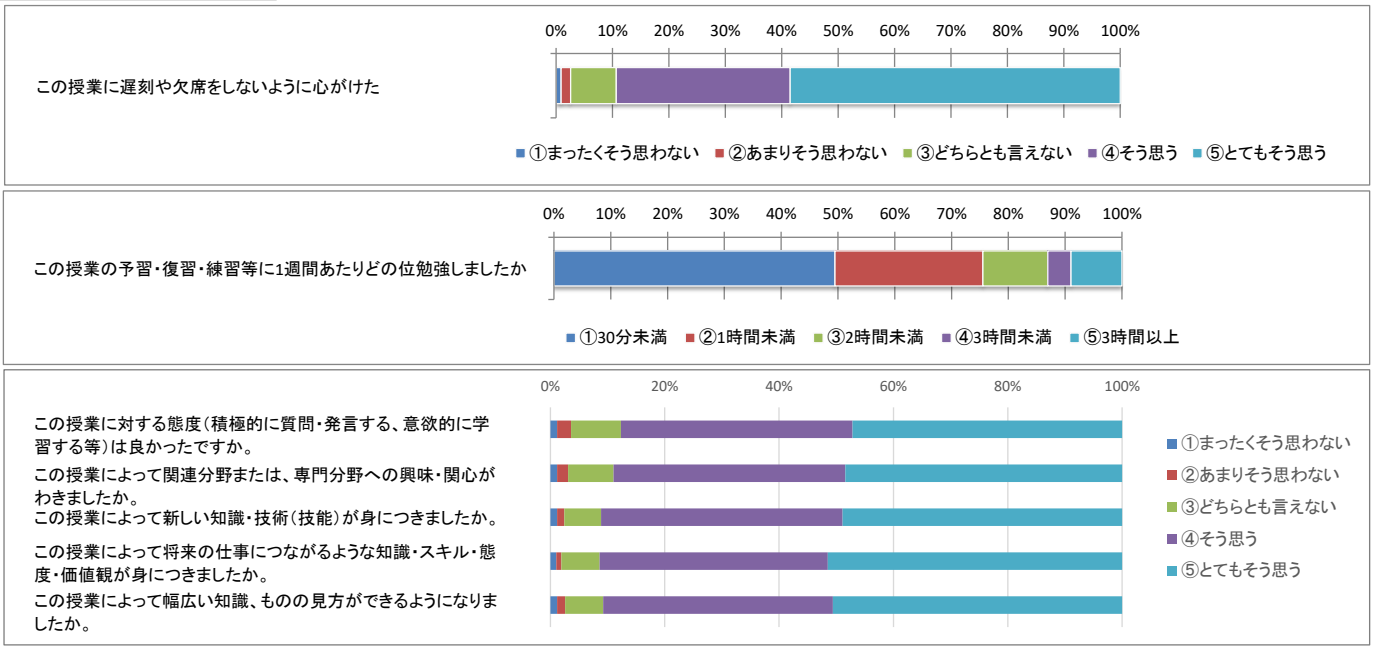
この授業ついて



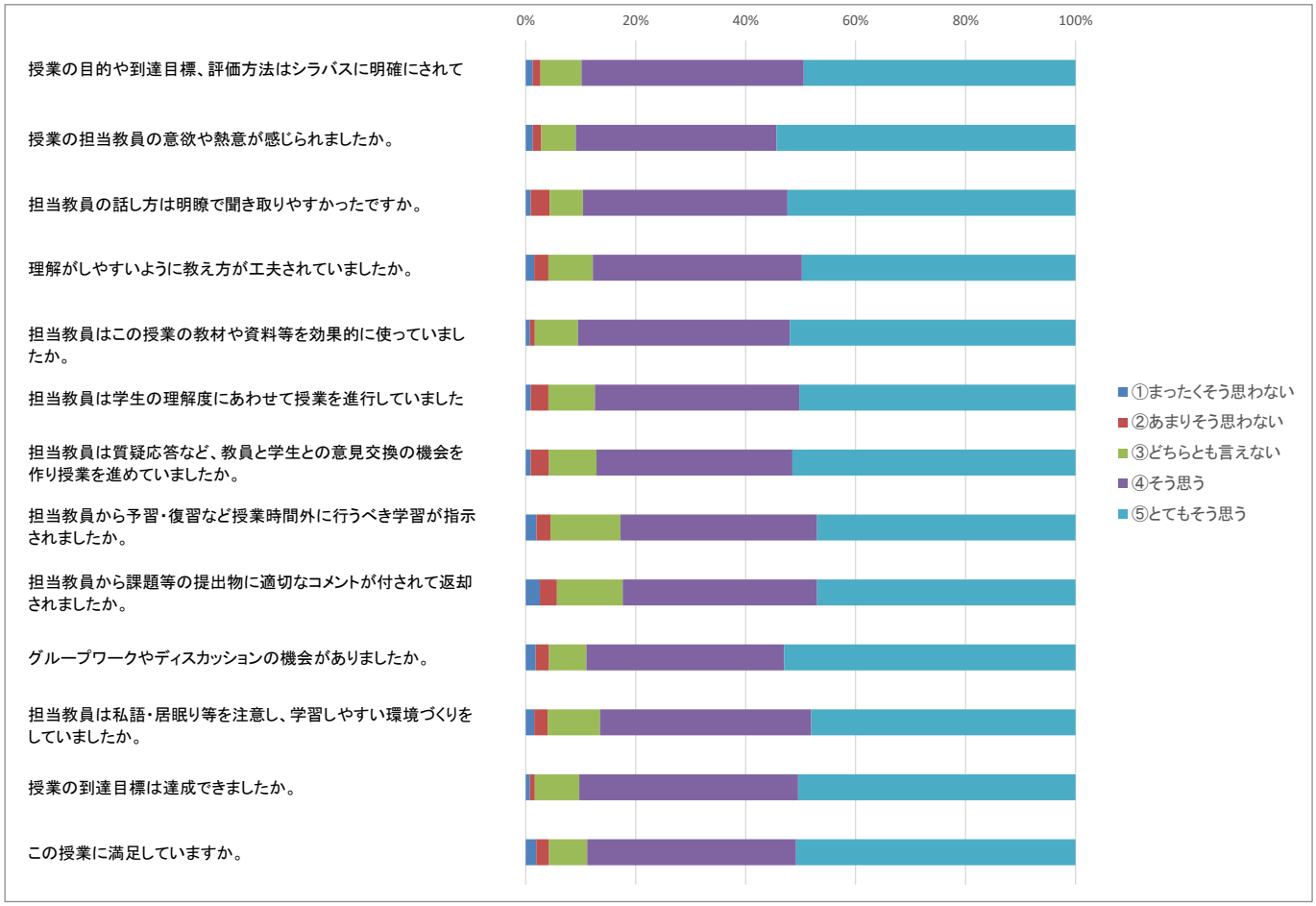
学芸学部　子ども教育学科専門科目　2026年度前期

	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	7	386	9	9	9	8	9	10	10	7	12	6	7	7	15	20	14	12	6	15
②	13	203	19	15	10	7	11	11	12	27	20	7	25	26	20	24	19	19	7	18
③	63	89	68	62	50	52	52	58	49	47	63	61	66	67	99	93	53	74	63	54
④	240	32	315	316	329	311	313	315	284	290	296	300	289	277	278	275	280	299	310	296
⑤	455	70	367	377	381	401	394	385	423	408	387	405	391	400	365	365	413	374	393	396
平均	4.4	2.0	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.4	4.3	4.4	4.3

あなた自身について



この授業ついて

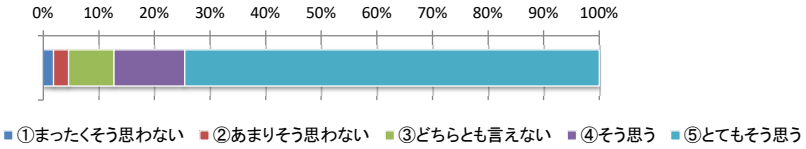


学芸学部　音楽学科教養科目　2026年度前期

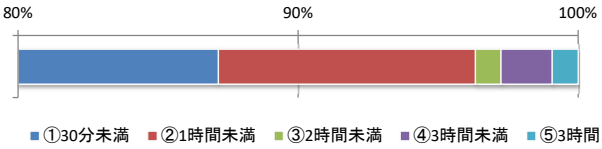
	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	2	95	1	4	5	5	6	4	4	4	4	4	4	3	13	8	5	2	4	4
②	3	10	2	8	4	3	3	4	3	4	4	5	7	4	8	6	6	8	2	7
③	9	1	14	11	6	7	6	3	9	11	7	9	8	12	15	16	16	18	6	6
④	14	2	39	31	37	32	33	38	28	26	31	27	29	32	25	29	31	25	37	28
⑤	82	1	54	56	57	63	62	61	66	65	64	65	62	58	49	51	52	57	61	65
平均	4.6	1.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	3.8	4.0	4.1	4.2	4.4	4.3

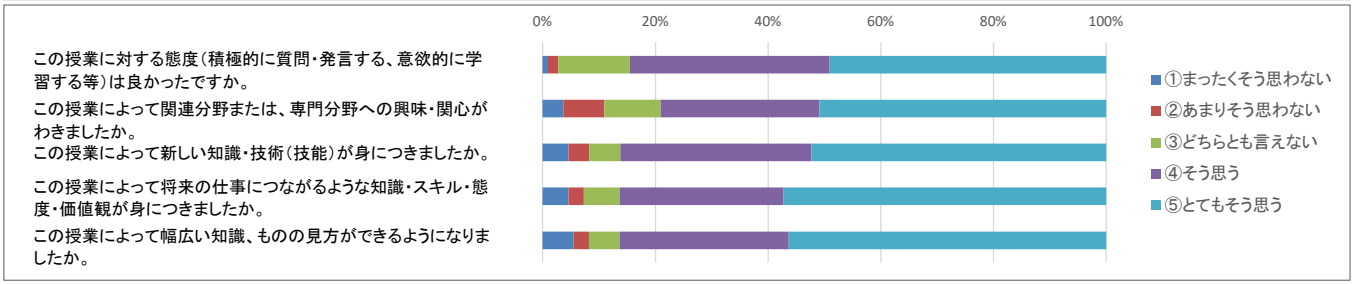
あなた自身について

この授業に遅刻や欠席をしないように心がけた

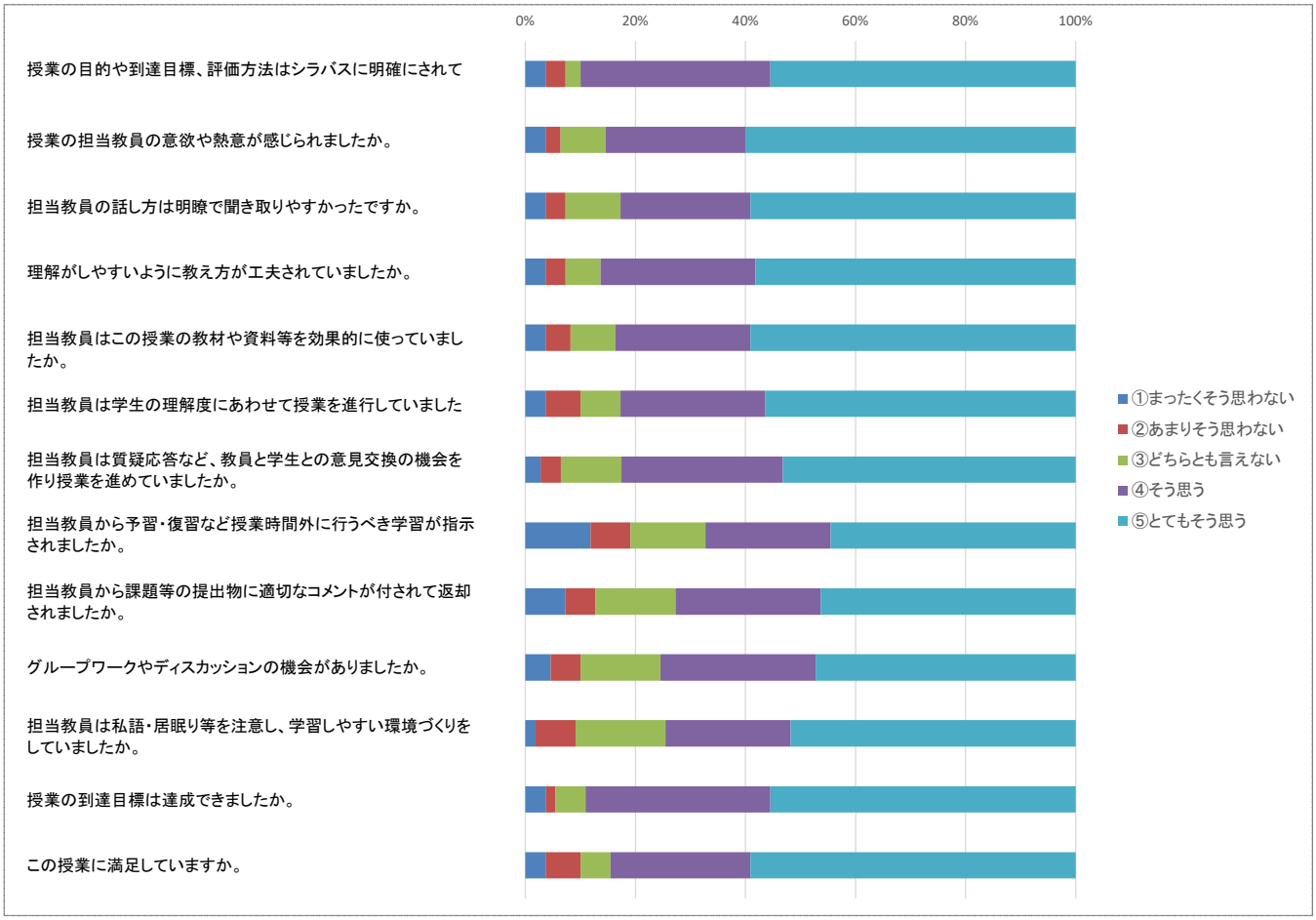


この授業の予習・復習・練習等に1週間あたりどの位勉強しましたか





この授業ついて

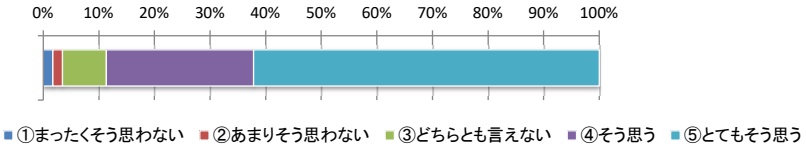


学芸学部　音楽学科専門科目　2026年度前期

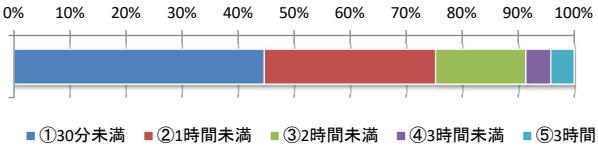
	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	5	130	4	9	6	5	6	6	4	10	11	4	11	8	8	9	16	4	9	12
②	5	89	8	8	6	8	6	4	8	6	10	7	7	8	12	13	8	8	6	9
③	23	47	39	28	19	22	23	23	17	15	18	21	29	19	35	47	47	36	20	17
④	77	13	97	85	81	82	87	93	59	67	69	78	70	65	80	68	61	86	91	74
⑤	181	12	142	160	179	174	169	165	202	193	183	181	174	191	156	152	158	157	165	179
平均	4.5	1.9	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4	4.5	4.3	4.5	4.3	4.2	4.2	4.3	4.4	4.4

あなた自身について

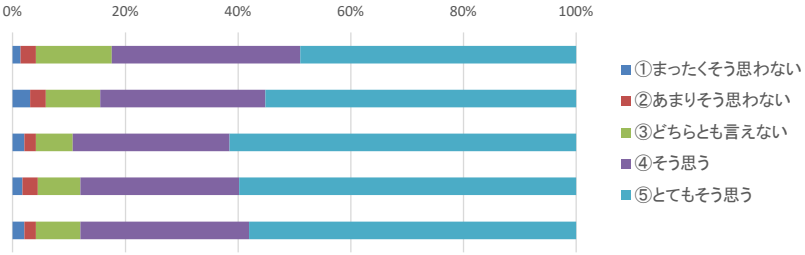
この授業に遅刻や欠席をしないように心がけた



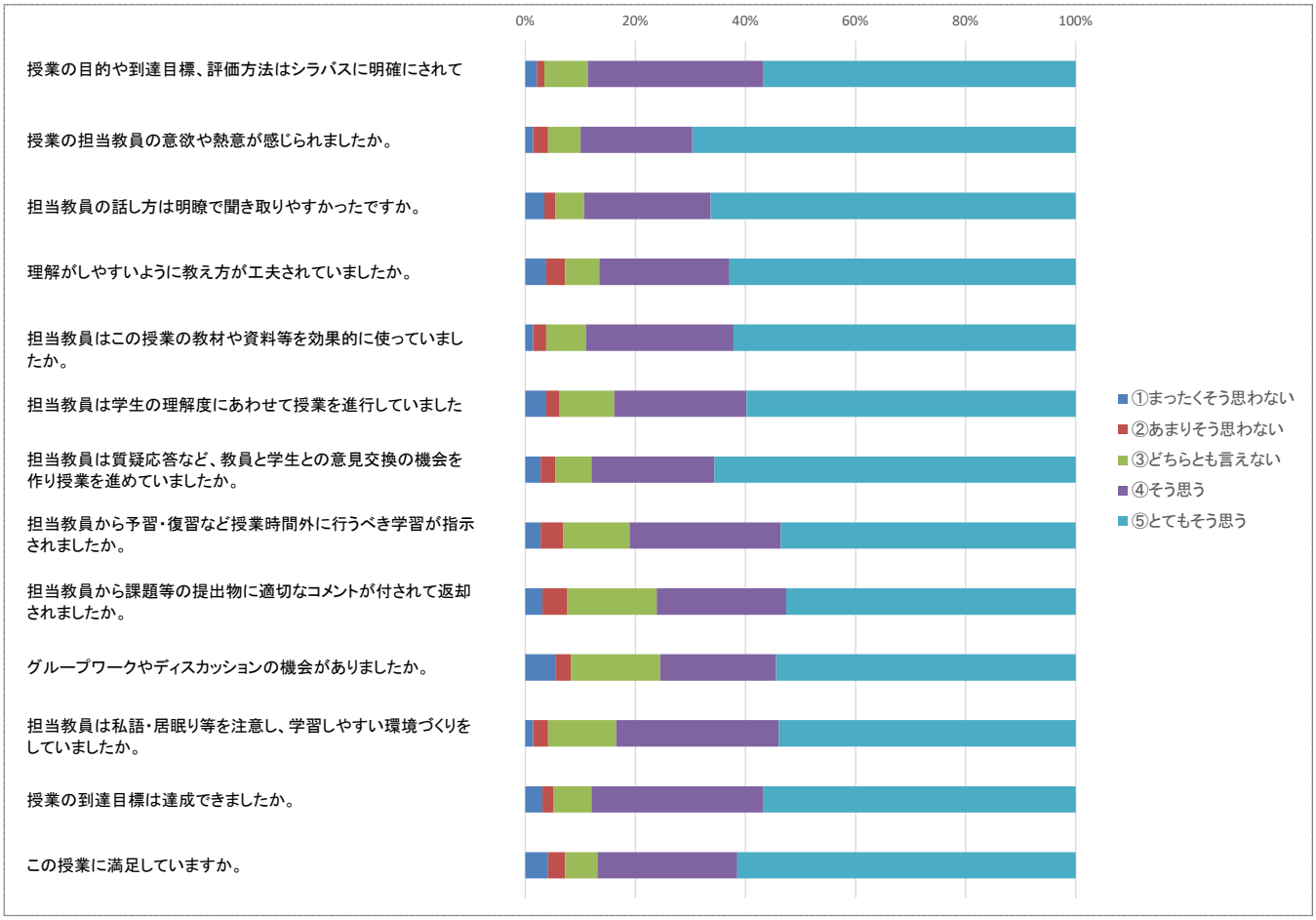
この授業の予習・復習・練習等に1週間あたりどの位勉強しましたか



この授業に対する態度（積極的に質問・発言する、意欲的に学習する等）は良かったですか。
この授業によって関連分野または、専門分野への興味・関心がわきましたか。
この授業によって新しい知識・技術（技能）が身につきましたか。
この授業によって将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観が身につきましたか。
この授業によって幅広い知識、ものの見方ができるようになりましたか。



この授業ついて

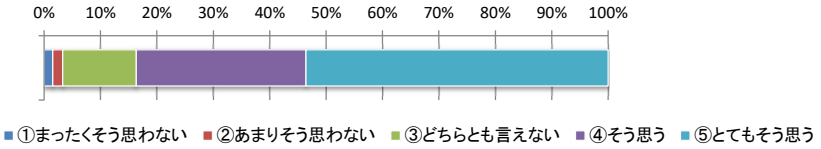


人間健康学部　スポーツ健康福祉学科教養科目　2026年度前期

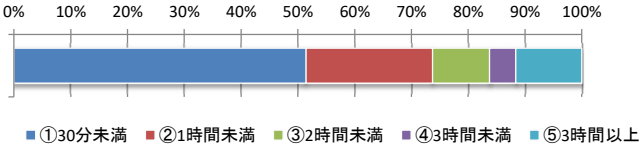
	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	8	266	10	13	6	10	8	10	9	12	11	11	13	11	16	12	17	11	7	10
②	9	115	10	8	12	6	8	8	5	11	5	7	7	8	9	9	13	8	3	5
③	68	52	71	76	73	72	76	78	65	75	77	68	85	86	79	97	99	84	76	67
④	156	24	189	197	196	198	199	195	209	204	201	198	197	191	191	179	178	193	203	198
⑤	278	60	236	223	231	231	224	227	228	216	224	235	214	222	222	221	210	222	227	237
平均	4.3	2.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.3

あなた自身について

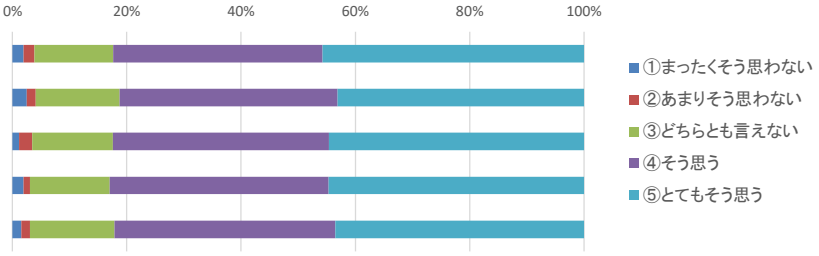
この授業に遅刻や欠席をしないように心がけた



この授業の予習・復習・練習等に1週間あたりどの位勉強しましたか

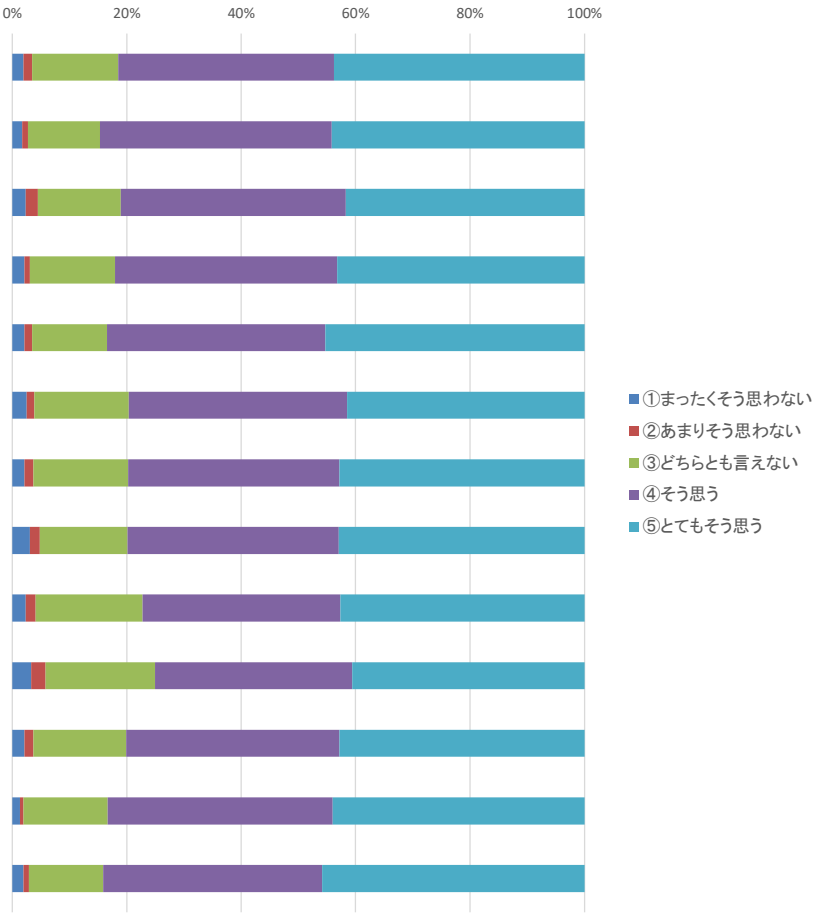


この授業に対する態度（積極的に質問・発言する、意欲的に学習する等）は良かったですか。
この授業によって関連分野または、専門分野への興味・関心がわきましたか。
この授業によって新しい知識・技術（技能）が身につきましたか。
この授業によって将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観が身につきましたか。
この授業によって幅広い知識、ものの見方ができるようになりましたか。



この授業ついて

授業の目的や到達目標、評価方法はシラバスに明確にされて
授業の担当教員の意欲や熱意が感じられましたか。
担当教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。
理解がしやすいように教え方が工夫されていましたか。
担当教員はこの授業の教材や資料等を効果的に使っていましたか。
担当教員は学生の理解度にあわせて授業を進行していました
担当教員は質疑応答など、教員と学生との意見交換の機会を作り授業を進めていましたか。
担当教員から予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示されましたか。
担当教員から課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却されましたか。
グループワークやディスカッションの機会がありましたか。
担当教員は私語・居眠り等を注意し、学習しやすい環境づくりをしていましたか。
授業の到達目標は達成できましたか。
この授業に満足していますか。

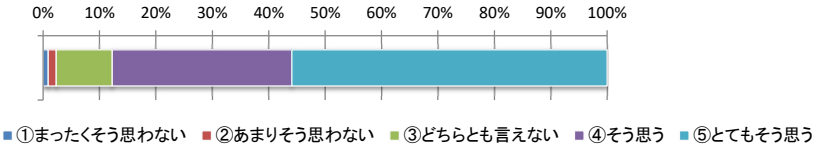


人間健康学部　スポーツ健康福祉学科専門科目　2026年度前期

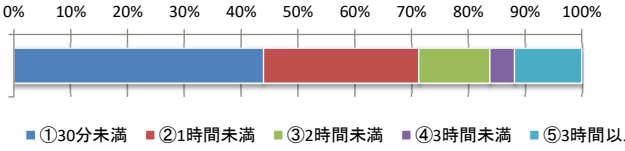
	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	15	714	18	10	11	12	13	10	17	18	16	12	14	26	22	26	69	16	10	13
②	23	445	29	25	17	25	17	23	19	23	23	22	35	38	26	33	73	28	22	20
③	161	203	214	203	166	181	171	190	174	175	177	174	196	211	244	284	279	216	183	186
④	516	70	608	611	625	620	644	635	557	570	602	609	600	581	597	576	516	602	629	561
⑤	907	193	753	773	805	785	775	766	856	836	804	801	775	761	732	704	686	759	775	839
平均	4.4	2.1	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.0	4.3	4.3	4.4

あなた自身について

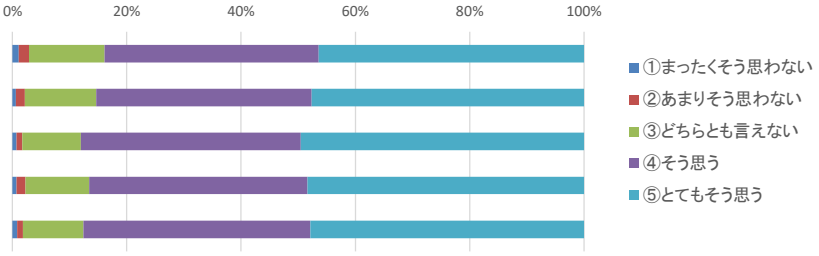
この授業に遅刻や欠席をしないように心がけた



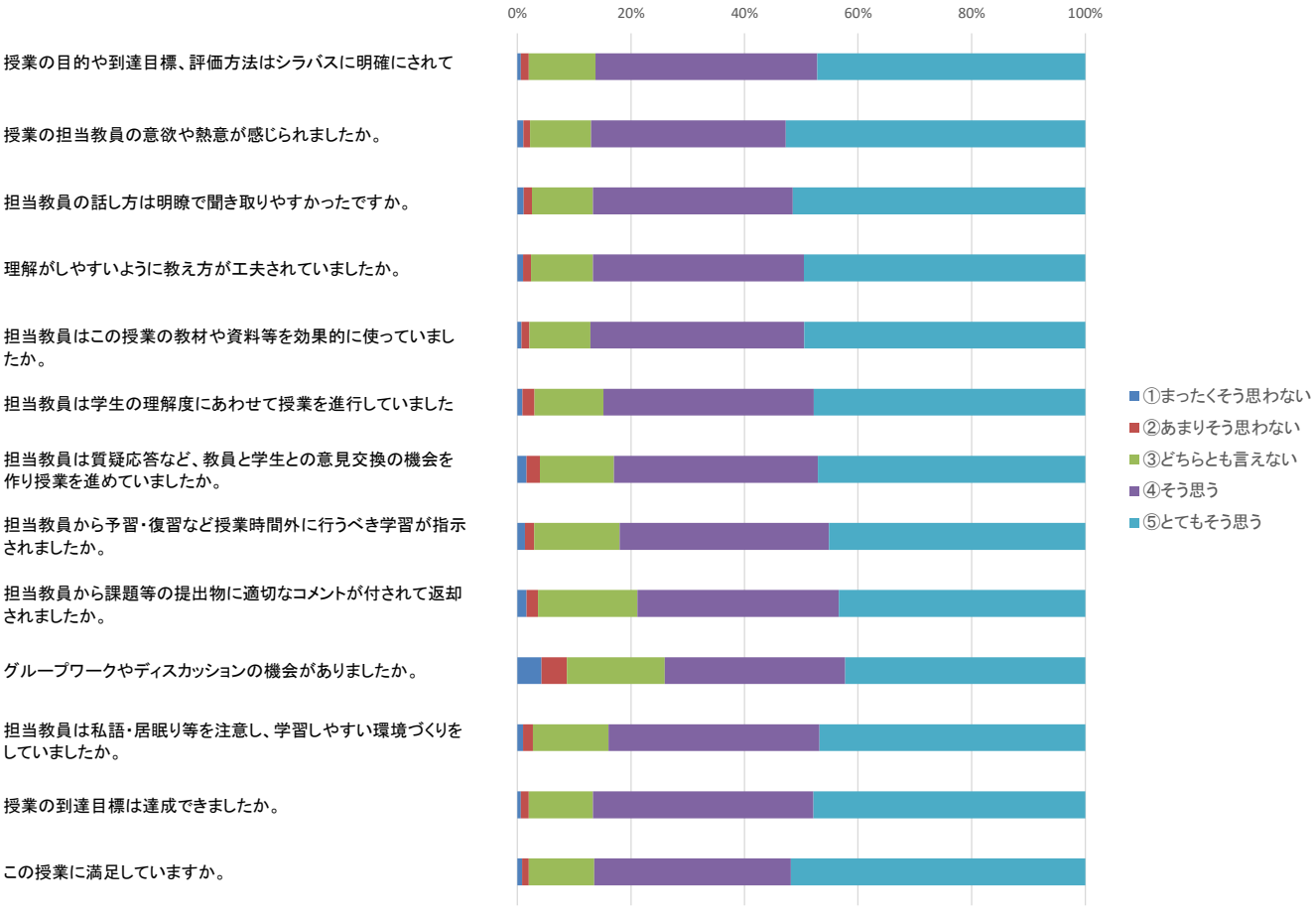
この授業の予習・復習・練習等に1週間あたりどの位勉強しましたか



この授業に対する態度（積極的に質問・発言する、意欲的に学習する等）は良かったですか。
この授業によって関連分野または、専門分野への興味・関心がわきましたか。
この授業によって新しい知識・技術（技能）が身につきましたか。
この授業によって将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観が身につきましたか。
この授業によって幅広い知識、ものの見方ができるようになりましたか。



この授業ついて

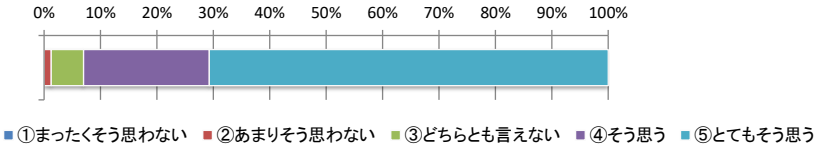


短期大学　コミュニティ生活学科教養科目　2026年度前期

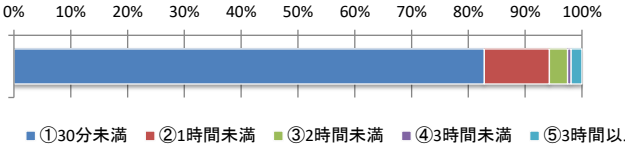
	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	0	130	0	2	0	1	2	3	0	0	0	1	0	2	16	9	21	3	1	0
②	2	18	6	6	4	6	6	1	0	3	3	1	4	7	8	9	13	4	0	2
③	9	5	8	12	4	6	9	4	6	10	9	6	7	9	21	15	16	16	9	6
④	35	1	56	53	53	47	48	47	37	40	41	47	45	50	43	44	34	49	52	42
⑤	111	3	87	85	97	98	93	103	115	105	105	103	102	90	70	81	74	85	96	108
平均	4.6	1.3	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.4	3.9	4.1	3.8	4.3	4.5	4.6

あなた自身について

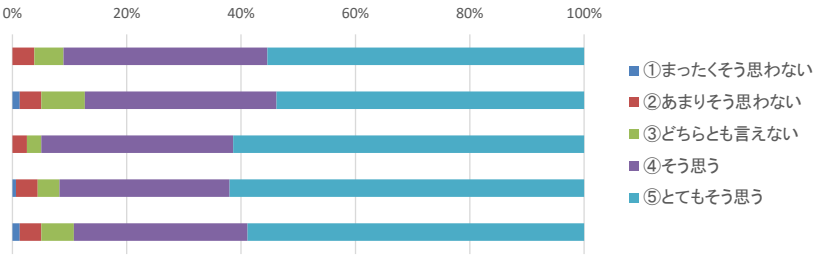
この授業に遅刻や欠席をしないように心がけた



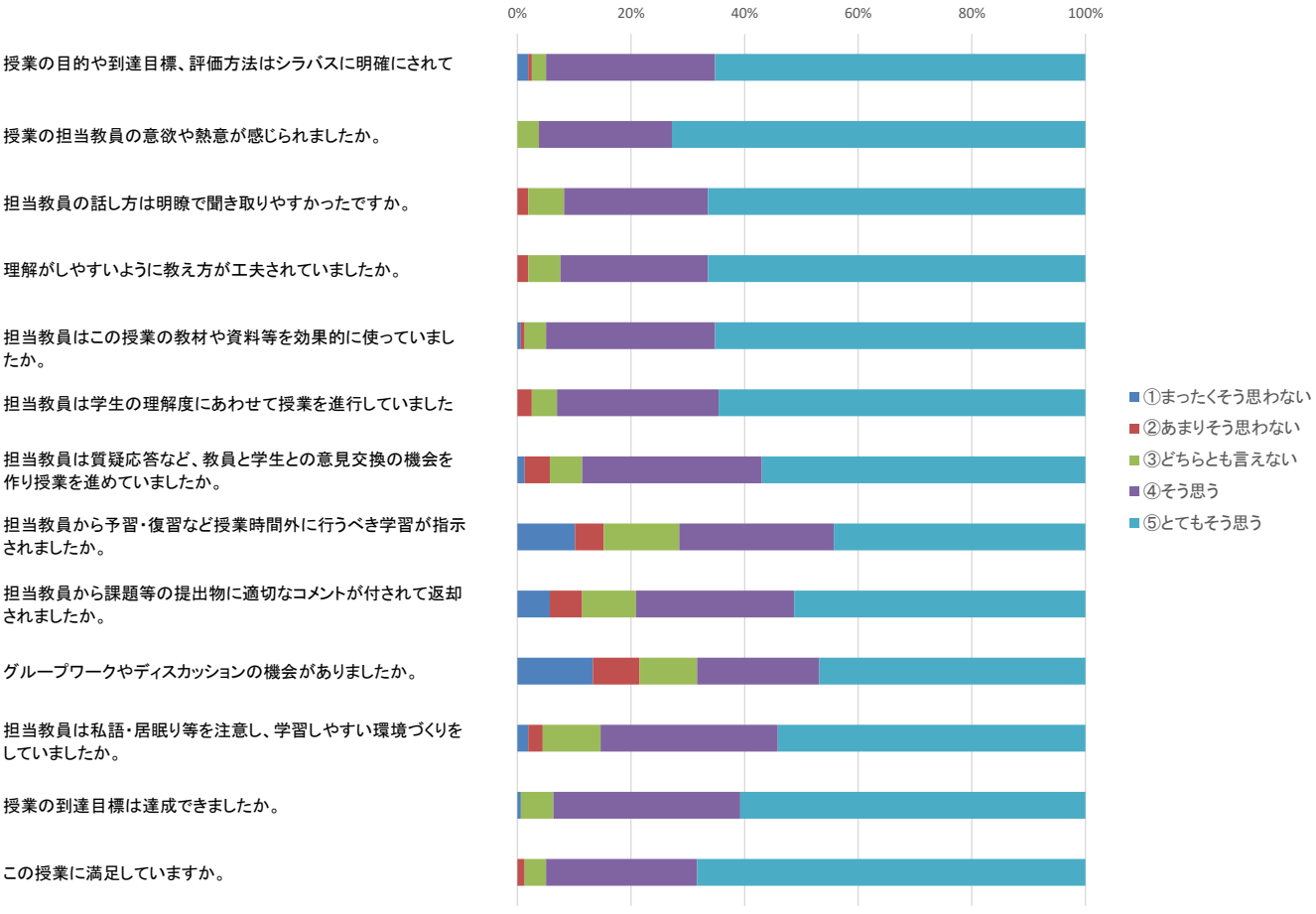
この授業の予習・復習・練習等に1週間あたりどの位勉強しましたか



この授業に対する態度（積極的に質問・発言する、意欲的に学習する等）は良かったですか。
この授業によって関連分野または、専門分野への興味・関心がわきましたか。
この授業によって新しい知識・技術（技能）が身につきましたか。
この授業によって将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観が身につきましたか。
この授業によって幅広い知識、ものの見方ができるようになりましたか。



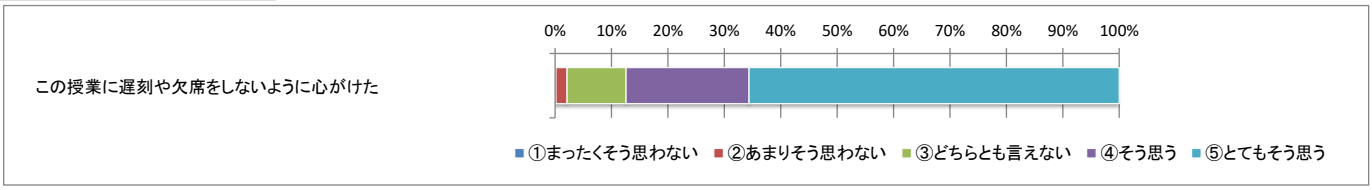
この授業ついて

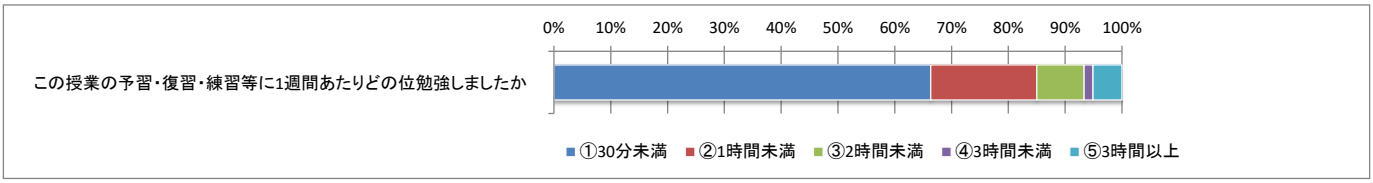


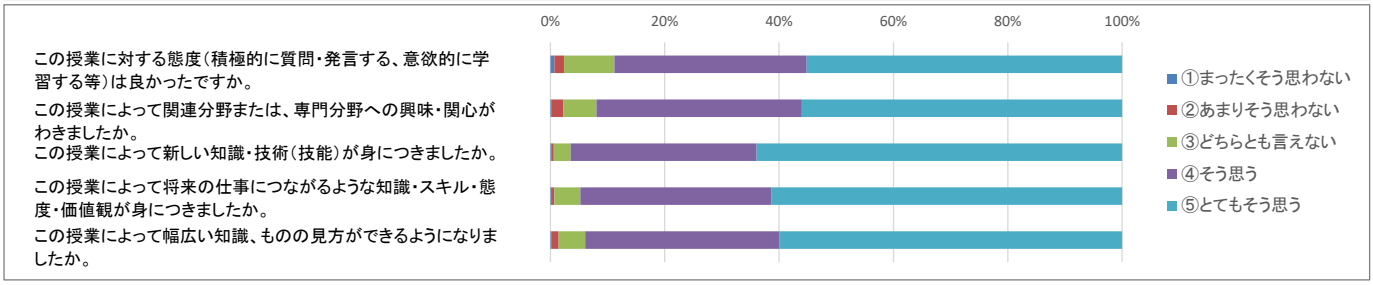
短期大学　コミュニティ生活学科専門科目　2026年度前期

	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	1	469	5	1	1	2	1	1	2	2	3	2	4	4	20	18	52	6	1	2
②	14	132	12	15	3	3	9	0	1	4	5	0	3	18	34	30	67	10	2	3
③	74	59	62	41	21	32	33	26	13	21	27	20	30	47	88	71	79	65	27	20
④	154	11	238	254	230	236	240	248	203	212	215	222	232	220	218	216	200	253	242	203
⑤	464	36	390	396	452	434	424	431	487	467	457	462	438	417	347	372	309	373	435	479
平均	4.5	1.6	4.4	4.5	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.2	4.3	3.9	4.4	4.6	4.6

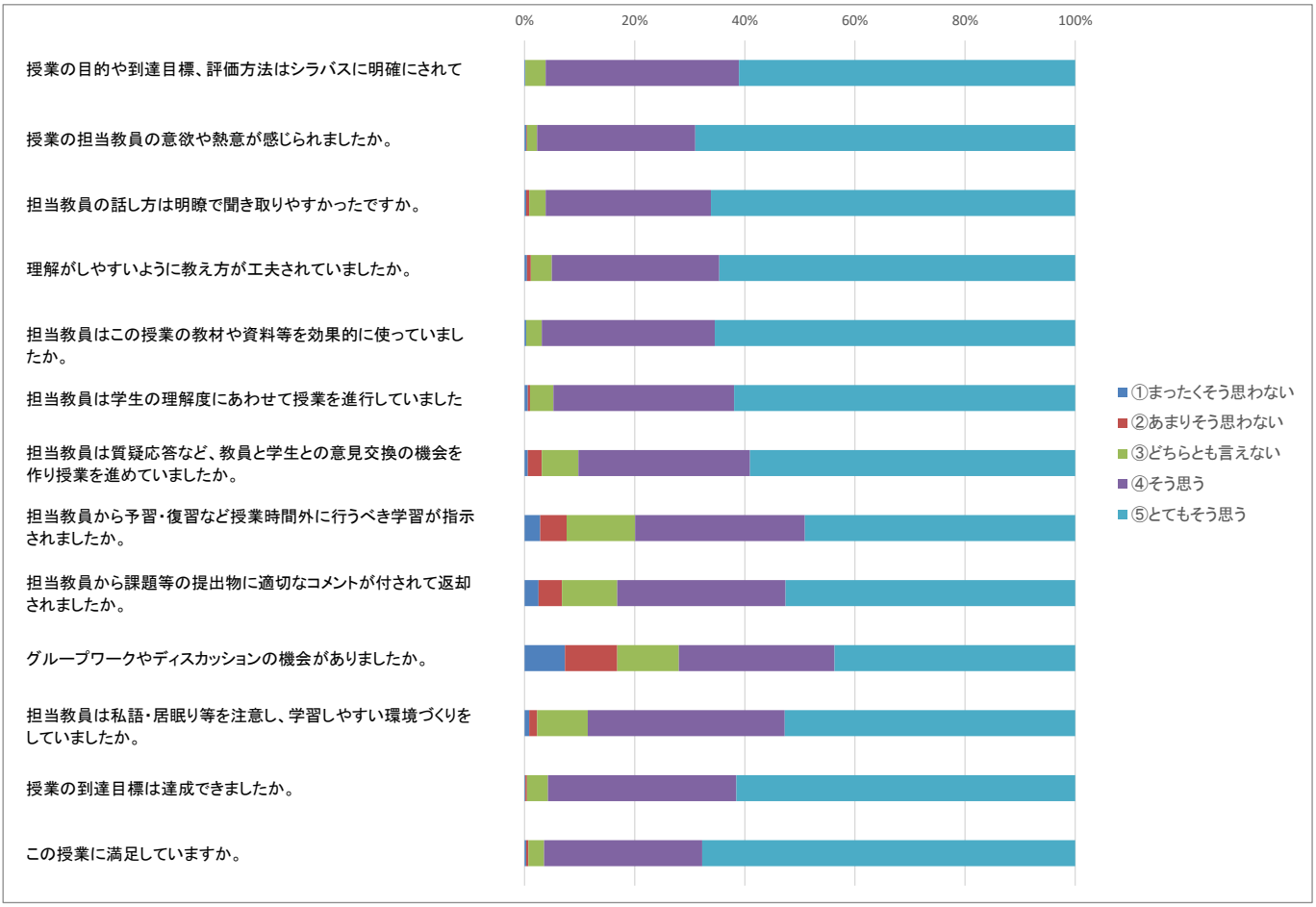
あなた自身について







この授業ついて

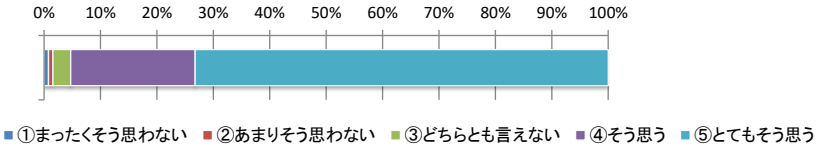


短期大学　食物栄養学科教養科目　2026年度前期

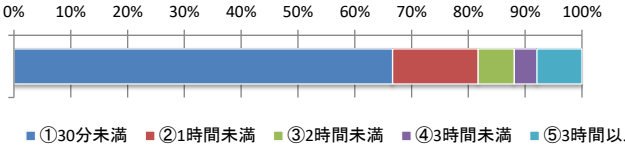
	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	1	84	1	3	3	4	4	1	2	2	2	3	1	2	7	4	10	4	2	1
②	1	19	3	4	2	5	2	5	2	4	5	0	5	5	7	12	4	6	2	4
③	4	8	15	16	9	11	10	10	6	6	9	11	11	7	22	19	10	22	6	6
④	28	5	38	35	41	39	46	43	37	30	29	33	30	34	30	25	32	26	41	28
⑤	93	10	70	69	72	68	65	68	80	85	82	80	80	79	61	67	71	69	75	88
平均	4.7	1.7	4.4	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.0	4.1	4.2	4.2	4.5	4.6

あなた自身について

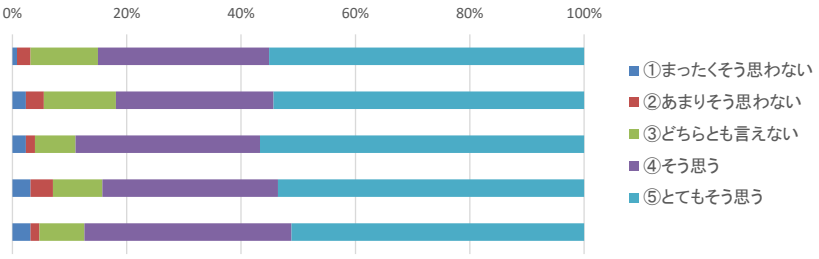
この授業に遅刻や欠席をしないように心がけた



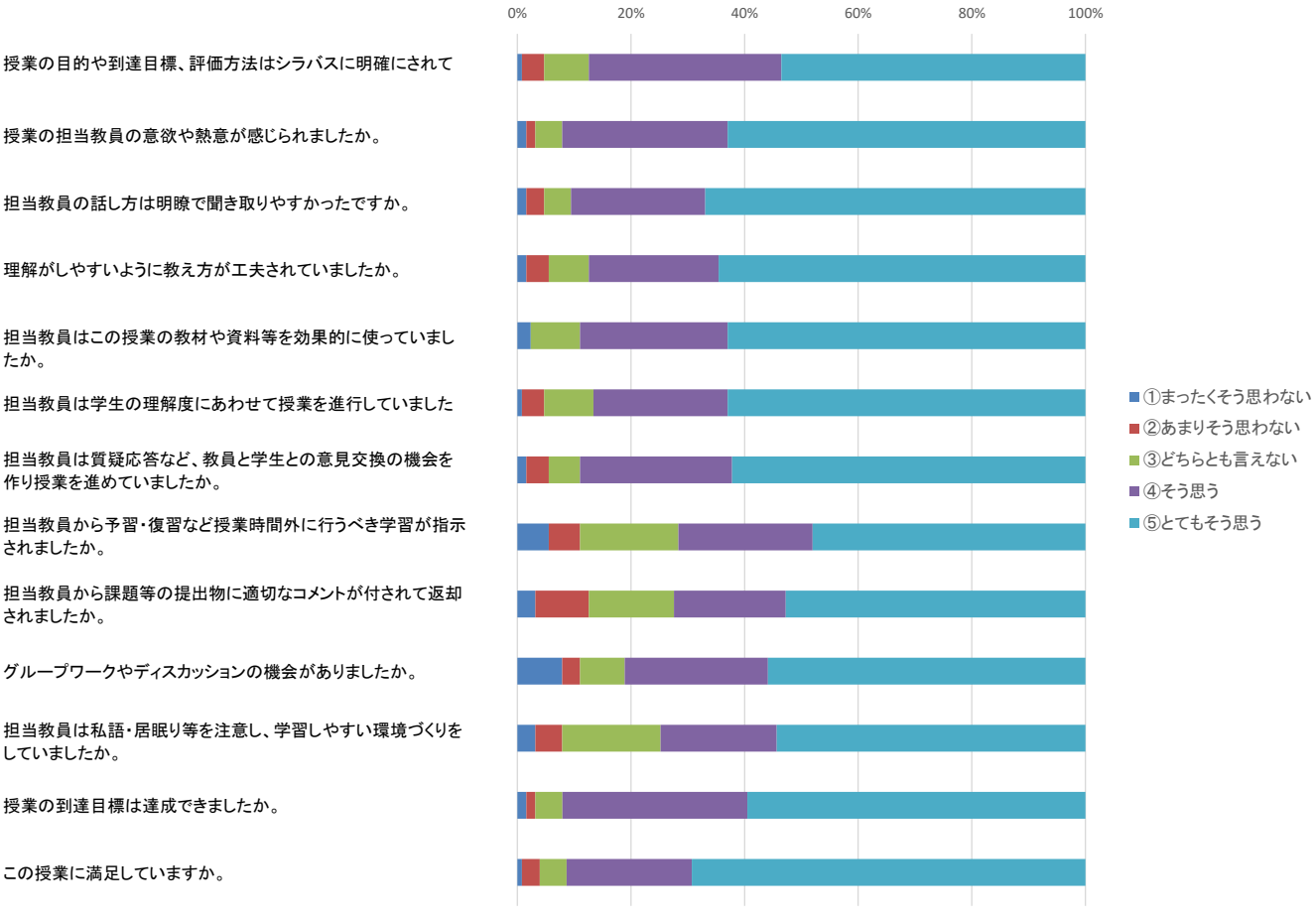
この授業の予習・復習・練習等に1週間あたりどの位勉強しましたか



この授業に対する態度（積極的に質問・発言する、意欲的に学習する等）は良かったですか。
この授業によって関連分野または、専門分野への興味・関心がわきましたか。
この授業によって新しい知識・技術（技能）が身につきましたか。
この授業によって将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観が身につきましたか。
この授業によって幅広い知識、ものの見方ができるようになりましたか。



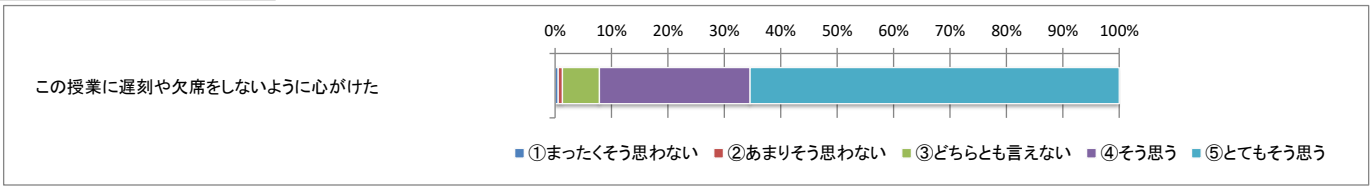
この授業ついて

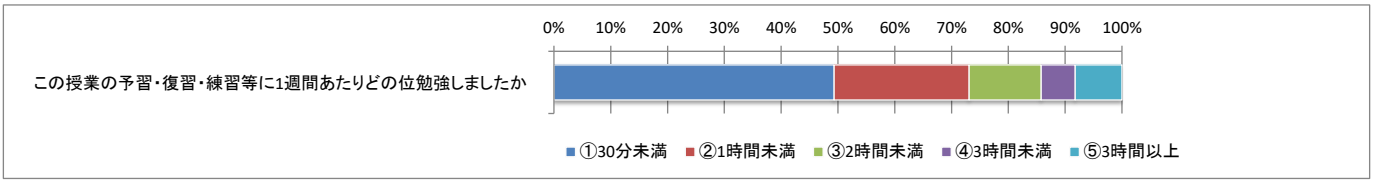


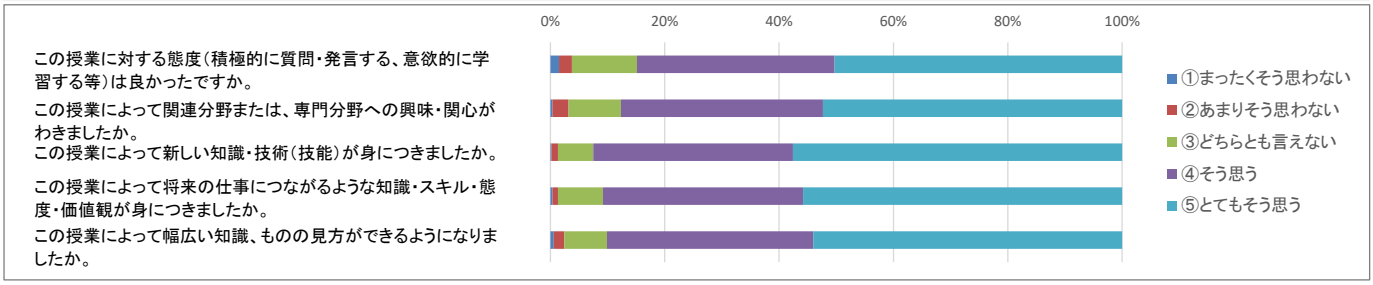
短期大学　食物栄養学科専門科目　2026年度前期

	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	3	264	8	2	1	2	3	2	1	3	3	1	3	5	4	6	27	6	1	2
②	4	127	12	15	6	5	10	1	2	6	6	5	6	7	9	9	24	14	5	3
③	35	68	61	49	33	42	40	27	38	40	37	38	50	61	57	81	71	47	43	38
④	143	32	185	189	187	187	193	190	156	155	164	167	174	166	181	156	140	153	185	173
⑤	350	44	269	280	308	298	289	315	338	330	325	324	302	296	284	283	273	314	300	317
平均	4.6	2.0	4.3	4.4	4.5	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.1	4.4	4.5	4.5

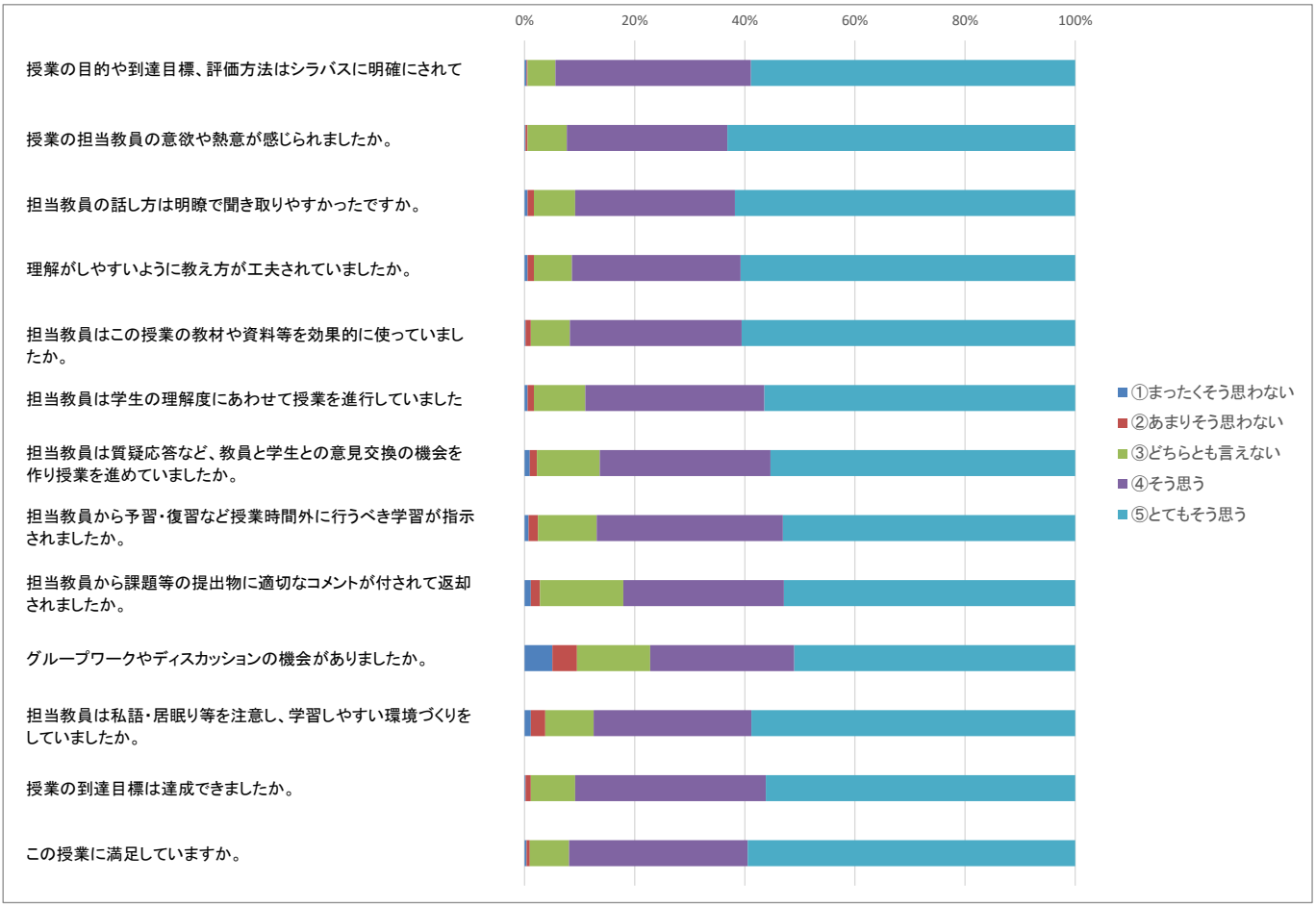
あなた自身について







この授業ついて

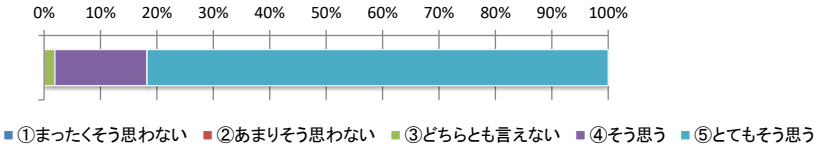


短期大学　保育学科教養科目　2026年度前期

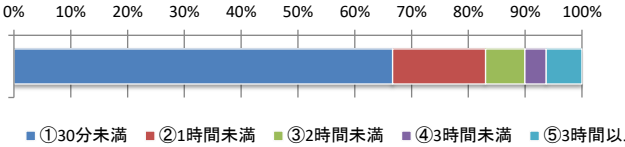
	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	0	106	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	2	5	3	7	0	0	0
②	0	26	0	0	0	0	0	2	1	3	3	0	1	2	1	1	5	0	0	0
③	3	11	8	8	3	4	6	4	2	7	5	4	5	8	23	20	13	6	4	3
④	26	6	37	34	35	35	36	34	30	29	30	33	28	27	32	34	30	37	38	35
⑤	130	10	114	117	120	120	117	118	126	118	120	122	124	120	98	100	104	116	117	121
平均	4.8	1.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.4	4.4	4.4	4.7	4.7	4.7

あなた自身について

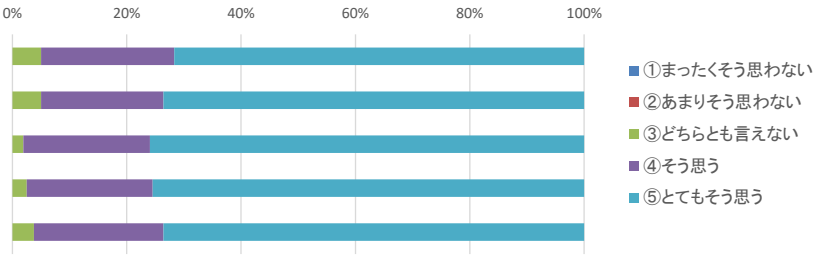
この授業に遅刻や欠席をしないように心がけた



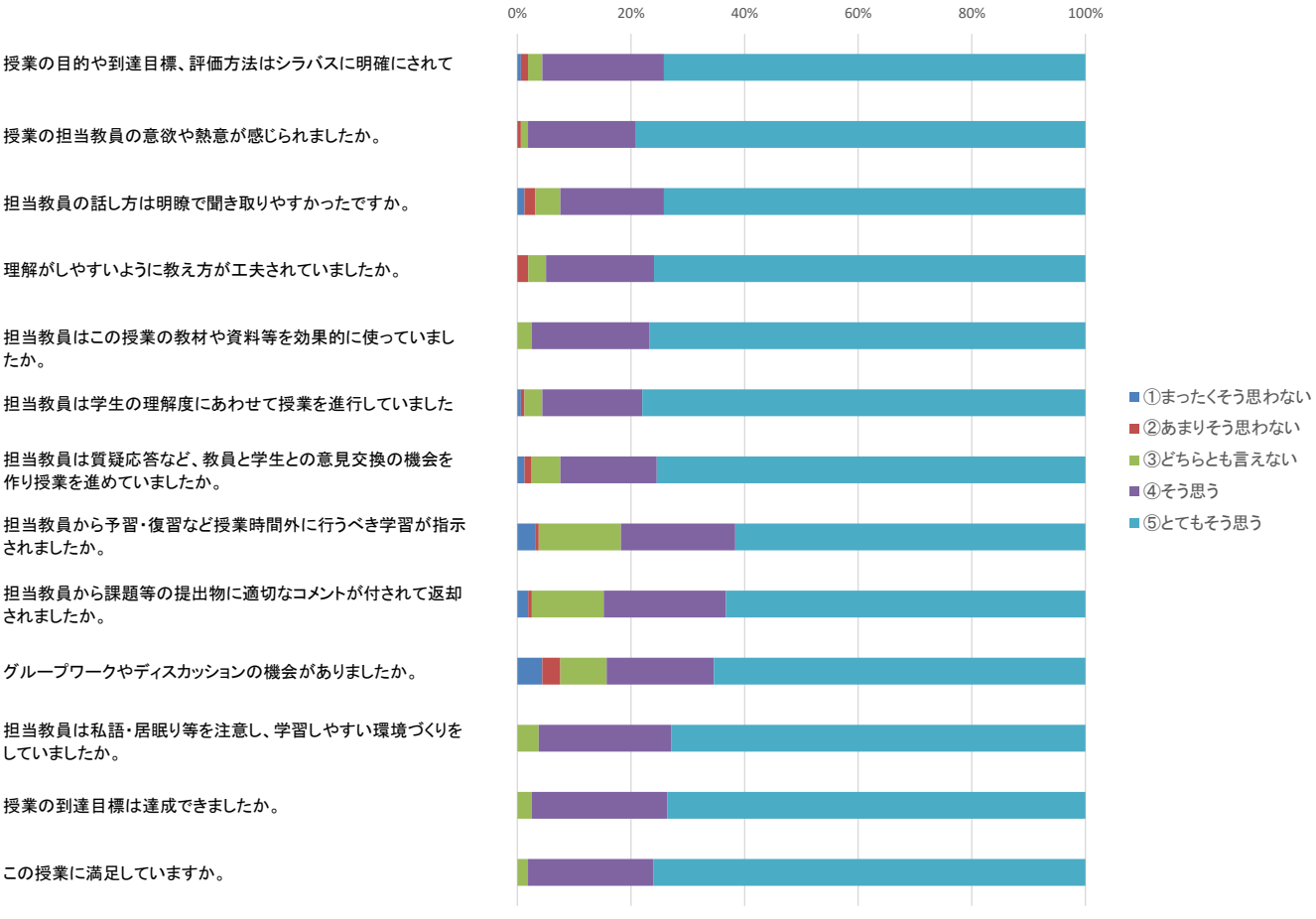
この授業の予習・復習・練習等に1週間あたりどの位勉強しましたか



この授業に対する態度（積極的に質問・発言する、意欲的に学習する等）は良かったですか。
この授業によって関連分野または、専門分野への興味・関心がわきましたか。
この授業によって新しい知識・技術（技能）が身につきましたか。
この授業によって将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観が身につきましたか。
この授業によって幅広い知識、ものの見方ができるようになりましたか。



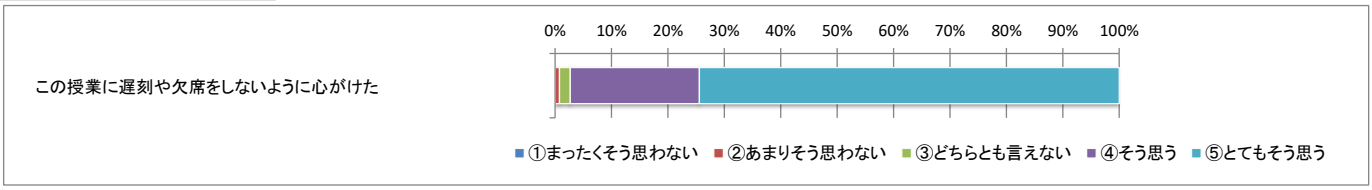
この授業ついて

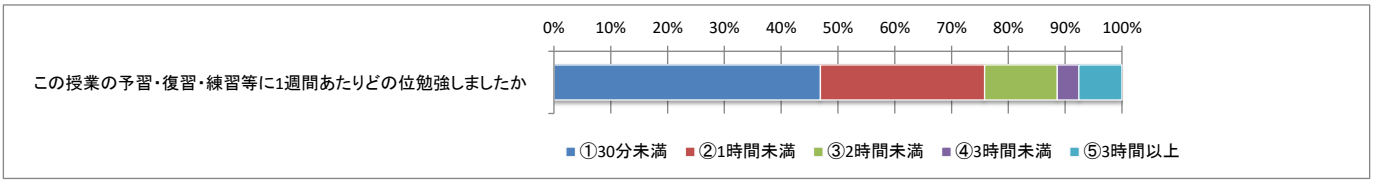


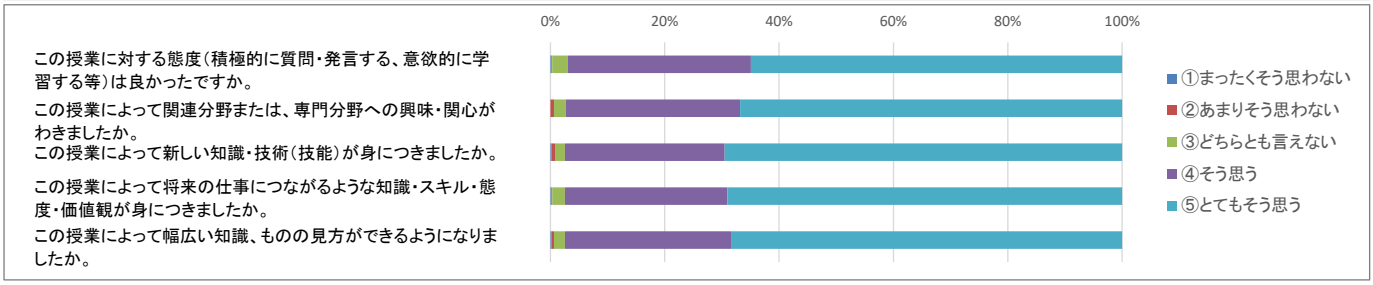
短期大学　保育学科専門科目　2026年度前期

	あなた自身について							この授業について												
	遅刻・欠席	予・復習	態度	興味・関心	知識・技術	将来	幅広い	目的	意欲・熱意	話し方	工夫	教材	理解度	意見交換	学修指示	コメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	注意	目標達成	満足
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
①	0	297	1	0	1	1	1	1	1	1	1	3	2	2	14	6	11	0	0	3
②	5	183	1	4	4	1	3	2	1	6	5	5	5	2	8	5	12	5	3	3
③	12	81	17	13	11	14	12	19	20	25	30	18	33	31	46	55	41	21	11	18
④	145	24	203	193	177	180	184	171	169	178	172	172	179	185	187	179	177	185	198	180
⑤	471	48	411	423	440	437	433	440	442	423	424	435	413	413	378	387	392	421	421	429
平均	4.7	2.0	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.4	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6

あなた自身について







この授業ついて

